

2025年度秋学期 履修ガイド (授業時間割表)

サービス創造学部

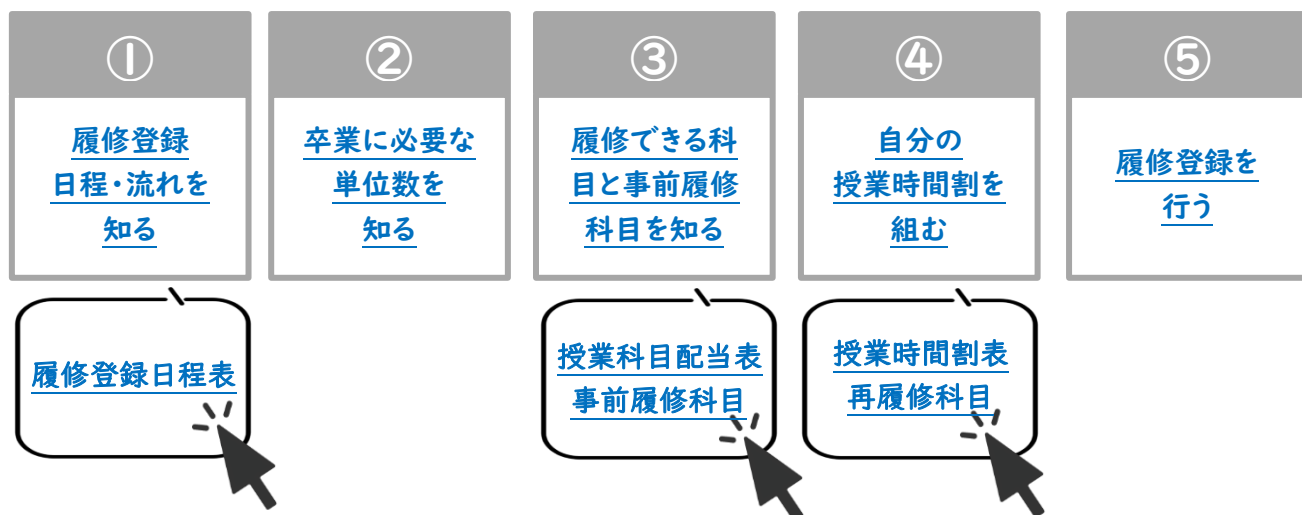
(2019～2024年度入学者対象)

一目で分かる！

学修の流れ

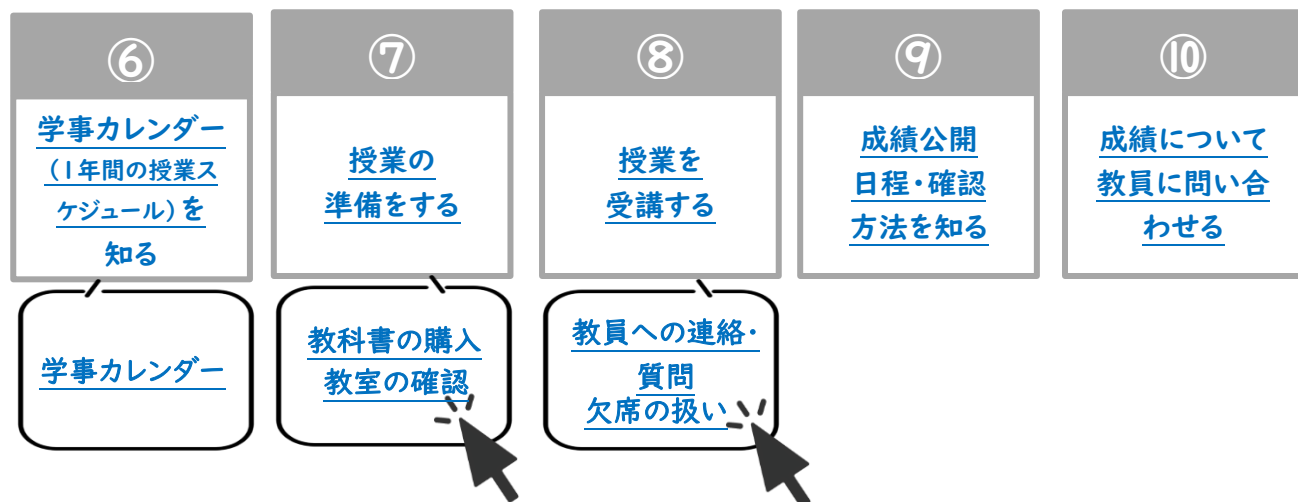
履修・授業・成績・卒業など学修に関わる一連の流れをここで確認しましょう！

履修



授業

成績



成績

卒業



? 履修ガイド（授業時間割表）の活用方法

その1. パソコンで閲覧すべし！

▶ スマートフォンは読みづらかったり、検索機能が使用できない可能性があります。パソコンで閲覧することを推奨します。

その2. リンク機能を使用すべし！

▶ 青字をクリックすると、該当のページへリンクします。

その3. 検索機能を活用すべし！

▶ PDFの「テキストまたはツールを検索」や「Ctrl + F」で、キーワード検索が可能です。わからないことがあったり、情報を探す際にぜひご利用ください。

履修・授業・成績・卒業に関する大学からの連絡は、CUC PORTALで掲示配信されます。

1日1回、CUC PORTAL掲示板を確認する習慣を身につけましょう！

<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/>

CUC PORTAL>ログイン>基本機能>掲示板



目次

千葉商科大学 理念・教育方針.....	5
千葉商科大学 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー	6
サービス創造学部の基本コンセプト	8
サービス創造学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー.....	11
サービス創造学部 教育課程.....	12
サービス創造学部の特色ある教育	15
基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群)	16

履修.....18

①履修登録日程・流れを知る	18
▶ 履修登録日程表	18
②卒業に必要な単位数を知る	21
▶ 卒業要件	21
③履修できる科目と事前履修科目を知る	22
▶ 授業科目配当表	22
▶ 履修にあたり条件がある科目	26
▶ 事前履修科目	28
▶ 単位認定申請方法について.....	29
④自分の授業時間割を組む	32
手順1：履修登録できる単位数を確認する.....	32
手順2：授業時間割表を確認する.....	34
▶ 授業時間割表	34
手順3：各科目における注意点を確認する.....	41
▶ 再履修科目	41
▶ 授業科目読替・新設・廃止等科目一覧	42
手順4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する	46
手順5：自分の時間割を決める.....	46
⑤履修登録を行う	47

授業.....49

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る	49
▶ 学事カレンダー	50
⑦授業の準備をする.....	52
▶ 教科書の購入	52
▶ 教室の確認	53
⑧授業を受講する	55
▶ 出席登録	55

▶ 遠隔授業の受講	56
▶ 休講・補講	59
▶ 課題の提出	60
▶ 教員への連絡・質問.....	60
▶ 欠席の扱い	61
▶ 不正行為	62
▶ 授業の受講以外の対応.....	62
成績.....	63
⑨成績公開日程・確認方法を知る	63
⑩成績について教員に問い合わせる	65
⑪証明書を発行する.....	67
卒業.....	68
⑫卒業者発表日程を知る.....	68
その他	69
千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」	69
カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ	70
ナンバリング	72
学籍.....	73
おすすめ検索キーワード集.....	75
よくある問い合わせまとめ.....	76

建学の趣旨

能力を外にして長幼の序を認め、為にする所なくして人格の光を仰ぎ、天道の自ら至る
を恐れ人倫の當に依るべきに従う。
人類を一視して其の幸栄を増進し、有用の学術を修め質実の氣風を養い、適く所として其の
天職を完うせんとす。

建学の精神

今日商業道德の頹廢は頗る寒心すべきものあり。外国貿易の不振も畢竟此処より来る。故
に実業家となるべき者に商業道德を吹き込み殊に武士的精神を注入するは最も急務なり
と謂わざるべからず。

教育の理念

建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを
本学の教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、以下の力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

高い倫理観

- ◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

幅広い教養

- ◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

専門的な知識・技能

- ◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーを教育の質保証を図るための起点とし、建学の精神および社会の要請に基づく教育の不断の改革・改善に努める。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、ディプロマ・ポリシーの達成のため、以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

本学のカリキュラムでは、実学を重んじ、実社会との連携とアクティブラーニングにより実践力を育成する。

初年次教育

多様な入学者が本学での主体的な学びに適応し、4年間を通じた学修の基礎を身につけ、専門研究へ導入することができるよう、少人数での初年次ゼミを実施する。初年次ゼミでは、多様な人々と協働する上で必要となるコミュニケーション力、倫理観および実践力を身につけるための「グループワーク」を取り入れる。

基盤教育

全学部の学生が共通して、ディプロマ・ポリシーに定める幅広い教養と高い倫理観を身につけることができるように、初年次より教養、外国語、情報、簿記会計、体育、キャリア及び日本語関連などの基盤教育を実施する。

専門教育

実社会における諸課題を発見し、解決するための専門的な知識・技能を体系的な学修を通して段階的に身につけるために、初年次に基礎的な専門教育を実施し、2年次以降に有用かつ高度な専門的な知識・技能を身につけるための発展的な専門教育を実施する。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を修得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。「研究」、「調査」、「グループワーク」、「グループディスカッション」および「プレゼンテーション」の積み重ねによって専門学修を深化させ、4年次にその集大成を行う。

さらに、本学では、各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。

学生の能動的な学修の充実に向け、履修科目の登録上限の設定による1科目あたりの学修時間の増加を図り、単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

本学では、ディプロマ・ポリシーの達成のため、カリキュラム・ポリシーを教育課程の編成・実施における重要な位置づけとし、カリキュラム・ポリシーに沿った大学教育の不断の改革・改善に努める。

サービス創造学部の基本コンセプト

サービスとは、便利さ、快適さ、楽しさなどを生み出し、人々の幸福やよりよい社会の実現に貢献するあらゆる活動や機能を指します。サービス創造とは、新たなサービスを発想し、実現することです。私たちの暮らしは、様々なサービスによって支えられており、その多くは企業によって提供されています。

サービスを提供する企業は、いわゆるサービス業に限りません。今日、あらゆるビジネスにサービス創造が求められており、その意味で、現代はまさにサービス社会だと言えるでしょう。

こうした社会の要請に応じて、サービス創造学部は、「新たなサービスを発想し、実現する」ための教育と研究を推進し、すべての学部メンバーの学びと成長の機会を、創造し続けます。

つまり・・・

Q：サービス創造ってなに？

A：「便利さ」「快適さ」「楽しさ」などを生み出すサービスを、新たに発想し、実現することです。

Q：サービス創造は、サービス業にだけ必要なの？

A：サービス業に属する企業だけでなく、メーカーなどの企業でも必要なことです。なぜなら多くの製品は、人々が「便利」で、「快適」で、「楽しい」生活を送るために生み出されるからです。

例えば・・・「便利さ」－清掃サービスを頼んで部屋をきれいにしてもらう。

－清掃ロボット（製品）のおかげで掃除が楽になった。

「快適さ」－マッサージ（サービス）を受けると体が癒される。

－マッサージ機能付きソファ（製品）で家でも気軽に体がほぐせる。

「楽しさ」－テーマパーク（サービス）で思いっきり楽しんだ。

－携帯用ゲーム機（製品）でいつでもどこでも遊べる。

Q：サービス創造はどれくらい重要？

A：ビジネスで成功するための“鍵”になります。より多くの人々に、今よりもっと便利で、快適で、楽しい気持ちになってもらうことこそ、ビジネスでなすべきことだからです。社会が変化して人々が求める価値が多様化すればするほど、サービス創造の重要性は高まっていきます。

Q：サービス創造するには、どうしたらいいの？

A：「サービス創造マインド」と「サービス思考力」を身に付ける必要があります。

Q：「サービス創造マインド」って？

A：サービス創造に必要な「意欲と姿勢」です。これには、よりよいサービスを実現する意欲や、人々が求める価値を理解しようとする姿勢、他者と協働しようとする姿勢などが含まれます。

Q：「サービス思考力」って？

A：サービス創造に必要な「考える力」です。具体的には、人々の生活や社会における問題を発見して新たなサービスを発想する力や、サービス実現における問題を発見して質の高いサービスを設計する力、実際に提供されたサービスが抱える問題を発見して改善策を考える力などです。

Q：「サービス創造マインド」や「サービス思考力」をどうやって身に付けるの？

A：「学問」「企業」「活動」からの学びによって身に付けます。これを本学部では、「3つの学び」と呼んでいます。

「学問から学ぶ」：経営学、マーケティング、情報、経済学、会計学などのビジネスに関わる学問分野を中心に幅広く学び、サービスの発想や実現の基礎となる知識や理論を身に付けます。また、各自がテーマを設定して研究を行い、自ら問題を発見する力や、発見した問題に対して論理的に思考する力、自らの考えを発信する力なども養います。

「企業から学ぶ」：新たなサービスを発想するには、現実社会を知る必要があります。そこで、学部に協力してくれる「公式サポーター企業」の方々から現場の話やサービス創造の話聞き、社会に対する関心やサービス創造の意欲を高め、人々の生活や社会における問題を発見して新たなサービスを発想する力などを養います。

「活動から学ぶ」：サービスは、人々の活動がなければ実現しません。そこで、実際にサービス創造の活動を行い、他者と協働してサービス創造しようとする姿勢や、サービス実現における問題を発見して質の高いサービスを設計する力などを養います。

1. サービス創造学部ビジョン

本学部は、「新たなサービスを発想し、実現する」ための教育、研究を推進し、豊かなサービス社会の実現に貢献します。

2. サービス創造学部の教育目標

本学部は、次のようなサービス創造人材を目指す学生の学びと成長を支援します。

- (1) サービス社会を先取りするビジネス分野で、組織の経営者や管理者として活躍できる人材
- (2) ビジネス分野で社会が求める新たなサービスを発想し、それを事業化（起業）できる人材
- (3) サービスに係る既存の理論や実践を批判的に考察し、新たなサービス理論を構築できる人材
- (4) 社会のリーダーもしくはプロフェッショナルとして、新たなサービス社会を先導できる人材

3. サービス創造学部のカリキュラムの特徴（3つの学び）

本学部における学びは、科目区分とは別に、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」に分類されます。「企業」や「活動」から学ぶことで、「学問」だけを学ぶ普通の学部の教育よりも社会や実践の問題を幅広く捉えることを可能とし、「新たなサービスを発想し、実現する」ための教育を効果的に推進することが、本学部のカリキュラムの狙いとなっています。

4. 公式サポーター企業

本学部は、サービス社会を先取りする主要企業と密接な協力体制を構築しています。これらの企業を、本学部では「公式サポーター企業」と呼んでいます。公式サポーター企業の方々は、授業のゲストスピーカーとしての講演、プロジェクト実践の支援、サービス創造のアイデアの審査などを通じて、みなさんに現実性と臨場感のある魅力的な学びの機会を提供してくれます。

公式サポーター企業の方々は、みなさんを一人の大人とみなしていますので、失礼のない態度で接するよう心がけてください。

5. プロジェクト実践

「プロジェクト実践」は、「活動から学ぶ」ための科目であり、本学部ならではの授業の一つです。この授業では、大学や公式サポーター企業などの支援を受けながら、学生自身がサービス創造のプロジェクトを企画、実行します。サービス創造のアイデアがあれば、それを実現するための企画を授業内で自ら立ち上げることも可能です。活動を行うだけでなく、活動を通じて感じたこと、疑問に思ったこと、失敗の経験などを振り返ることで、学びを深めていきます。

6. 研究科目（ゼミナール）

本学部では、学生が主体的に研究するための「研究科目」が、必修科目として設置されています。この授業はゼミナール（ゼミ）とも呼ばれ、2年次に自らの興味関心にしがって所属ゼミナールを選択し、4年次には4年間の学びの集大成として「卒業研究」を行います。

観光・ホテル・交通	(株)エイチ・アイ・エス (H.I.S.)
	(株)カヌチャベリゾート
	JTBグループ
	常盤興産(株)
	(株)第一寶亭留
	(株)帝国ホテル
	日本航空(株) (JAL)
	富士屋ホテル(株)
経営サポート・資産運用・保険	(株)あしたのチーム
	(株)クレディセゾン
	三光ソフランホールディングス(株)
	スターツコーポレーション(株)
	パーソルテンプスタッフ(株)
	(株)日本政策金融公庫
	(株)乃村工藝社
	(株)ハウスメイト
	(株)三井住友銀行
	第一生命保険(株)船橋支社
健康サポート	(医)鉄蕉会亀田メディカルセンター
	セントラルスポーツ(株)
小売・流通・物流	(株)ルネサンス
	加賀電子(株)
	佐川急便(株)
	(株)ファミリーマート
	(株)マツモトキヨシ
	ミニストップ(株)
	(株)メガススポーツ
	ヤマト運輸(株)
情報・通信	(株)ヤナセ
	ソフトバンク(株)
食品・飲食	(株)伊藤園
	クオルス(株)
	タリーズコーヒージャパン(株)
	(株)トランジットホールディングス
	(株)プロントコーポレーション
	(株)ホットランド (築地銀だこ)
	(株)萬珍樓
スポーツ・エンターテインメント	米屋(株)
	イオンエンターテイメント(株)
	(株)OFC (オービックシーガルス)
	ジェフユナイテッド(株) (ジェフユナイテッド市原・千葉)
	(公財)千葉県文化振興財団
	(株)千葉ジェッツふなばし
	(株)千葉ロッテマリーンズ
	東映(株)
	(公財)日本オペラ振興会
	びあ(株)
広告・メディア	(株)ホリプロ
	MOONEYES
	京成フロンティア企画(株)
生活サポート	千葉テレビ放送(株)
	(株)ベイエフエム
	アビリティーズ・ケアネット(株)
	(株)サン・ライフ
	(株)スペースマーケット
	総合警備保障(株) (ALSOK)
	(株)ポビンス
ファッションサービス	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)
	サマンサタバサグループ
電波塔事業	東武タワースカイツリー(株)
防災事業・繊維事業	帝国繊維(株)

サービス創造学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

サービス創造学部 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

サービス創造学部では、サービスに関する以下のような倫理観、教養、専門的な知識・技能を一定のレベルを超えて身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、サービス創造人材として「経営学士」の学位を授与する。サービス創造人材とは、新たなサービスを創造することを通じて価値や効用を生み出し、個人や組織、社会を豊かにする人たちのことである。

高い倫理観

- ◆より良いサービスを提供しようとするサービス創造マインドおよびサービス創造する際に求められる判断基準としての道徳準則を遵守するための責任感。

幅広い教養

- ◆人間、組織、社会に対する強い関心を持ち、サービス創造のための発想、判断、行動する上で求められる普遍的で幅広い見識や知識、および豊かな人間性。

専門的な知識・技能

- ◆サービス創造しようという意欲に基づく、サービス創造に関する知識及びサービス創造するための発想力・マネジメント力・マーケティング力・アカウンティング力・情報科学力などの能力。

上記の力を身につけるためのカリキュラムを編成・実施し、所定の単位の修得により、学修成果を評価する。単位修得状況が一定の水準に満たない学生に対しては、面談等の実施により学修成果の把握・改善を行う。

サービス創造学部 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

サービス創造学部では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、全学部共通カリキュラムである CUC 基盤教育科目群の科目を通じて本学の学生として基盤となる知識の獲得と能力の醸成を行うとともに、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「三つの学び」を中心とした以下のカリキュラムを体系的に編成し実施する。

初年次教育

多様な入学者がサービス創造学部での主体的な学びに適応し、4年間を通じた学修の基礎を身につけ、専門研究へ導入することができるよう、少人数での初年次ゼミを実施する。初年次ゼミでは、大学生として必要な学修態度、コミュニケーションスキル(読む、書く、聞く、話す)を学ぶとともに、自身の今後の大学生活や進路を考える機会を提供するために、講義、課題演習、グループワークなど多面的な教育方法を取り入れる。

専門教育

主たる6つの学問分野(サービス、経営学、マーケティング、会計学、情報、経済学)において、実社会における諸課題を発見し、解決するための専門的な知識・技能を体系的な学修を通じて段階的に身につける。学問において最低限必要とされる基礎知識や理論を入門科目にて修得(情報分野はCUC基盤教育科目群にて修得)させたうえで、より高度で応用的な知識や理論を修得するための発展的な専門教育を実施する。また、1年次に配置するプロジェクト関連科目修得を通じて、2年次以降に取り組むプロジェクト活動を円滑に遂行するために必要な知識・能力の涵養を図る。

一定の専門知識を体系的に修得させるために、教育方法は主として講義形式を取り入れるが、必要に応じて適宜、ゲストスピーカーによる講演、グループワーク、ディスカッションなどを実施する。

ゼミナール教育

発展的な専門知識・技能を修得するために、2年次以降にゼミナール教育を実施する。この教育は、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」というサービス創造学部における「三つの学び」が総合的に活かされる場であり、それらの学びを通じて得られた知識を総動員し、担当教員や学生同士とのコミュニケーション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、研究のテーマを掘り下げ、4年次にはその集大成として卒業研究の成果物の完成を目指す。

さらに、サービス創造学部においては、各科目に到達目標、評価方法を具体的にシラバスに記載し、それらに基づいて学修成果を評価するとともに、科目ごとに初回の授業時に、到達目標、評価方法を学生に説明し、学生が計画的に学修を行えるようにする。

学生の能動的な学修の充実に向け、履修科目の登録上限の設定による1科目あたりの学修時間の増加をはかるとともに、ディスカッションや演習をともなうアクティブラーニング主体の授業においては履修人数の上限を設定し、教育効果の向上に努める。

サービス創造学部 教育課程

科目の区分

科目区分は、CUC 基盤教育科目群、サービス企業科目群、専門科目群、研究科目群に大別されます。これらの科目区分をバランスよく学ぶことにより、サービス創造学部の特色である「学問から学ぶ」、「企業から学ぶ」、「活動から学ぶ」の3つの学びを身につけます。

科目の概要

【CUC 基盤教育科目群】

詳細は、[基盤教育機構](#)を参照してください。

【サービス企業科目群】

サービス企業科目群は、セミナー科目と実践科目で構成されており、「企業から学ぶ」に該当します。

(1) セミナー科目

セミナー科目では、公式サポーター企業を中心に実務家をゲストスピーカーとして招聘します。この科目では、現場でのさまざまな経験に基づく具体的な話をいただきながら、当該企業ならびにそれを取り巻く業界の実態や特徴についての理解と関心を深めます。また、当該企業が実際に提供しているサービスの特徴あるいはサービスの効用を高めるための努力や工夫など実践に即した話からサービス創造の基礎を学びます。

さまざまな業界の現状に触れることは、将来の進路を考える上でのきっかけとなります。また、多くの業界を知ることによって、各業界における今日的な動向を理解することができ、ひいては、新しいサービス創造へと発展することができるものと考えられますので、より多くのセミナー科目で学ぶことを推奨します。

(2) 実践科目

実践科目は、3つの学びのうちの「活動から学ぶ」に該当します。設定した課題を解決する道筋を検討するために専門科目で学んだ知識を用いて、みなさんが主体的に考察し、活動します。目的を達成するためのプロセスを通じて、さまざまなことを学ぶことができます。

「プロジェクトマネジメント」は、プロジェクトを運営するために必要となる目標設定、企画作成、予算管理などについて学ぶ科目です。この科目での学びは、学内外でのプロジェクト、インターンシップなどの機会はもちろん、卒業後の実社会でも役立つビジネススキルの基礎となります。

さらに実際のプロジェクトを効果的に実施するためには、論理的な思考やコミュニケーション能力、調査力が必要になります。それらの基礎を学ぶために、「インタビュー法」「メディアコミュニケーションズⅠ」「プロデュース論」「調査法」などの科目が設けられ、これらの知識を修得することができます。

「プロジェクト実践」は、学問からの学び、企業からの学びを手がかりに学内外において学生がプロジェクト活動を行う科目です。活動の期間に応じて修得単位数が2、4単位と変動します。

2年次以降に履修可能となる「プロジェクト実践」の履修を希望する場合は、1年次で下記科目の履修修得を推奨します。効果的な学修ができるように、履修計画を策定してください。

「プロジェクト入門」(必修)

「調査法」

「ビジュアルコミュニケーションデザイン論」

「サービス体験デザイン論」

「インタビュー法」

「メディアコミュニケーションズⅠ」

「Service Communication」

「ビジネスパーソンシップ論」
「メディアコミュニケーションズ2」
「American Pop Culture」

【専門科目群】

専門科目群は、サービス創造科目とアカデミックコモン科目で構成され、サービス創造科目は「入門」「基幹」「展開」、アカデミックコモン科目は「入門」「基幹」の区分により、科目がそれぞれ設定されています。

入門科目では、基幹科目、展開科目へと進む上で必要な基礎的理論や概念的枠組みを修得します。基幹科目では、基礎科目を拡充し、それぞれの分野の幹を形成する科目として用意されています。社会で起きている現実的諸問題の理解と解決に向けた思考法を学びます。

サービス創造科目に設置されている展開科目では、代表的なサービス業界ごとに、それぞれが有する特徴や問題を具体的、実践的な視点で学び、サービス業界に対する各自の関心や進路に応じた専門的な知識を修得します。

（１）サービス創造科目

サービス創造科目では、サービスに関する理論を「入門」「基幹」「展開」の段階に分け、体系的に学ぶことができます。

「入門」では、サービス創造に関する基本的な考え方を「サービス創造入門」にて理解します。「基幹」では、「入門」で学んだ知識を基として、「サービスマネジメント論」「サービスマーケティング論」等の科目を通じ、より発展的な理論について具体例を交えた講義を行います。

さらに「展開」では、旅行レジャー・交通宿泊・外食・ファッション・ブライダル・流通・物流・情報・スポーツエンターテインメント・健康・金融・アカウンティング・フィットネスの各業界における特徴や最新のサービス創造などを学術的に解説し、サービス創造の理論を実践的に学びます。

（２）アカデミックコモン科目

アカデミックコモン科目は、経営学、マーケティング、会計学、情報、経済学の5つの分野で構成されており、各分野とも基礎を学ぶ「入門」と、応用科目としての「基幹」に分けて科目を配当しています。

実社会で求められる広範な基礎学習を修めることは、将来進路の幅を広げることにともながりま。また、複数の学問分野を学ぶことによって同じ問題をさまざまな学問的な視点から複合的に分析することも可能となります。

また、「基幹」の科目ではサービス創造学部にあわせて、経営革新や消費者行動、企業財務、情報システム、ミクロ経済などについて必要十分な科目を用意しており、幅広い学問的なアイデアや現実問題に出会い、知識を探究することによって、研究を深めることができます。

【研究科目群（ゼミナール）】

1年次の「研究入門」では、高校から大学への導入教育などを目的として20名規模のクラスで授業を実施し、大学で学ぶ意義や技法、レポートの書き方など、大学で学ぶために必要なスキルを身につけます。

「研究入門」「研究2」「研究3A」「研究3B」「研究4A」「研究4B」「卒業研究」はそれぞれ必修科目です。「研究入門」は学修の基礎を学び、コミュニケーション力を高めるための科目です。

「研究2」では、各教員の専門分野ごとにクラス（ゼミナール）が設置され、みなさんの興味・関心を持つゼミナールを選んで申込みをします。

また、「研究2」の発展的な内容を学ぶ「研究3A」「研究3B」「研究4A」「研究4B」「卒業研究」は、本学部において学問を究める重要な機会となります。

授業科目配当表

原則として、履修できる科目は授業科目配当表に記載のある科目のみです(自由科目、特別講義を除く)。授業科目配当表に記載のない科目の単位修得をしても卒業要件には含まれません。入学年度ごとにカリキュラムが異なりますので、履修登録の際には注意してください。

詳細は、[授業科目配当表](#)を確認してください。

資格取得単位認定

下表の認定科目は、該当資格を取得し、大学に申請することで単位を認定することができます。申請期間等の詳細については、[単位認定申請方法について](#)を参照してください。

資格名称	認 定 科 目	申請可能学年
I T パスポート試験	ICT 基礎	1 年次～
全商簿記 1～2 級	簿記入門	
全経簿記 1～2 級		
日商簿記 1～3 級		

ラーニングパス（LP）

本学部では、1 年次から 4 年次までの学修について、定期的に学生と指導教員が相談しながら設計する「ラーニングパス（LP）」制度を導入しています。

学生と教員が学期ごとに個別相談する機会を持ち、将来の目標や目的にふさわしい学修ができるよう、学びの方向性を相談していきます。また、成績結果についても、両者で確認し、問題点の洗い出しと今後の課題について検討します。

基盤教育機構(CUC 基盤教育科目群)

基盤教育機構 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」（大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者）としての基盤を形成するため、全学部の学生が共通に学ぶ「CUC基盤教育科目群」を設ける。

CUC基盤教育科目群では、主として、ディプロマ・ポリシーに定める「幅広い教養」及び「高い倫理観」を身につけるため、次のとおりカリキュラムを編成し実施する。

共通教養科目

多様な学問の核心に触れることで、治道家たるにふさわしい知の基盤を築く。すなわち、現実社会の諸問題を発見し分析する上で基盤となる知識や方法を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野にもとづき、高い倫理観をもってものごとを判断する力を育む。この目的のために、人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。各学問の考え方をより体系的に理解し修得できるように、主として講義形式にて実施する。

外国語科目

多様な言語や文化を背景に持つ人々と協働する上で基盤となる外国語に関する普遍的な知識・技能を身につけるために、各種の外国語からなるカリキュラムを編成し、初年次より実施する。特に、英語及び中国語については、基礎的な内容に加え、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。コミュニケーション力と実践力を培うとともに、より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、少人数での演習または講義形式にて実施する。

情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、情報社会において必要となる情報を正しく扱う行動規範（情報倫理）を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。実践力を培うことができるように、主として、コンピュータを用いた演習形式にて実施する。

簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。さらに、実社会において活用するための実践的な内容を取り入れる。より多くの知識を体系的に修得できるように、主として、演習を取り入れた講義形式にて実施する。

体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。主体性とチャレンジ精神を育むとともに、コミュニケーション力を培うことができるように、主として、実技形式にて実施する。

キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成し実施する。主体性と社会規範意識を育み、コミュニケーション力と実践力を培うことで、多様な人々との協働に必要な人間性を形成することができるように、主として、演習または講義形式の授業を実施する。

日本語関連科目

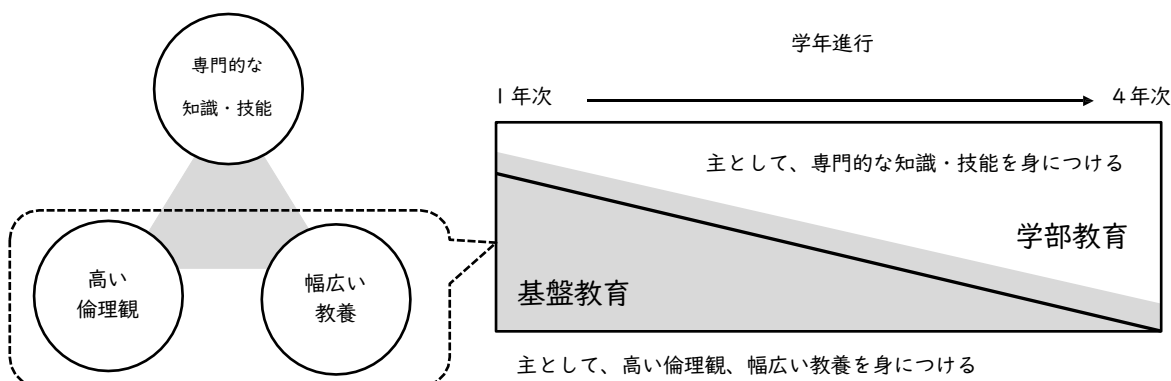
大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成し、初年次より実施する。レポートや論文などで自らの考えや意見を論理的に表現する力を培うとともに、留学生を対象とした授業においては、「読む」「聴く」「書く」「話す」という4技能を取り入れた内容を通じて、コミュニケーション力と実践力を培う。主として、演習または講義形式にて実施する。

上記の各科目で身につく知識・技能等をシラバスに記載し、シラバスに記載された評価方法・基準により学修成果を評価するとともに、科目間の関係性を可視化し、学生が体系的に履修・学修を行えるようにする。また、社会の要請及び学生のニーズにもとづき、定期的なカリキュラムの点検及び見直しを行う。

基盤教育機構 教育編成

千葉商科大学では、全学部生の基盤教育として、「CUC 基盤教育科目群」を各学部の卒業要件科目に配当しています。本学卒業生に必要とされる「CUC3 つの力（専門的な知識・技能、高い倫理観、幅広い教養）」のうち、主に「高い倫理観」と「幅広い教養」に重点を置いたカリキュラム構成となっています。

<学部教育と基盤教育の役割と学年進行のイメージ>



基盤教育機構 科目区分

CUC 基盤教育科目群は、7 つの科目区分から構成されます。各科目は卒業要件単位数として算定されます。学部によって卒業要件区分単位数が異なりますので、各学部別の卒業要件を確認してください。

ア. 共通教養科目

人文科学、社会科学および自然科学の3領域からなるカリキュラムを編成しています。

イ. 外国語科目

6 つの言語（英語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語）からなるカリキュラムを編成しています。

ウ. 情報科目

大学生活のみならず、実社会で働く上で基盤となる情報通信技術（ICT）に関する基礎的な知識・技能を修得することを目的としたカリキュラムを編成しています。

なお、「情報入門」は必修科目として配当しています。エ. 簿記会計科目

実社会で働く上で基盤となる簿記会計に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに、商業道德の基礎となる素養を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

オ. 体育科目

スポーツや健康増進の活動を通じて、学修の基盤となる心身の健康を獲得するとともに、生涯にわたり豊かなライフスタイルを形成するための基礎的な知識や技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

カ. キャリア科目

実社会で働く上で基盤となる知識・技能・態度を身につけ、職業意識を育むとともに、自己のキャリアを通じて学修成果を実社会の課題解決に活かすために、初年次より段階的なカリキュラムを編成しています。

キ. 日本語関連科目

大学生活における学修と実社会で働く上で基盤となる日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけるためのカリキュラムを編成しています。

履修

■履修登録とは

履修登録とは、学期の初めに、その学期の学修計画に基づき決定した授業科目を各自で登録する最も重要な手続きの一つです。時間割の作成と履修登録の手続きは各自の責任で行う必要があります。

履修ガイド（授業時間割表）やシラバスをよく確認し、自身の学修計画に従って責任をもって履修登録を行ってください。

①履修登録日程・流れを知る

以下履修登録日程を確認の上、履修登録を行ってください。

履修登録期間外は、いかなる理由であっても履修登録や修正を受け付けませんので、十分注意してください。

※CUC PORTALは毎日午前3：00～午前5：00はシステムメンテナンスのため利用できません。履修登録を行う際には留意し、時間に余裕をもって申請してください。

※アクセスが集中している時は繋がりにくくなりますので、時間をおいて行ってください。

【履修登録日程表】

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
9月1日(月)12:00 ～9月12日(金)12:00	【希望者のみ対象】単位認定申請（第1期申請）※詳細は「 単位認定申請について 」参照			
9月22日(月)12:00 ～10月2日(木)12:00	【希望者のみ対象】単位認定申請（第2期申請）※詳細は「 単位認定申請について 」参照			
10月1日(水)10:00	事前履修科目公開	-	-	・CUC PORTAL「学生時間割表」画面より事前履修科目の登録状況を確認できます。 (履修することが決まっている事前履修科目は、自分で履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています)
1年生 10月1日(水)10:00 ～10月3日(金)13:00	<u>一次履修登録期間</u> (抽選)	変更不可	登録可能	・CUC PORTAL「抽選希望登録」画面より定員設定科目の申し込みが可能です。 ・申込数が定員数を超過した場合、抽選で履修当落が決定します。 ※期間中は登録内容の変更が可能です。 ※学年毎に期間が異なります。
2年生 10月1日(水)12:00 ～10月3日(金)13:00				
3年生 10月1日(水)14:00 ～10月3日(金)13:00				
4年生 10月1日(水)16:00 ～10月3日(金)13:00				

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修 科目	定員設定 科目	概要
10月3日(金) ～10月24日(金)	教科書販売開始	※詳細は「 教科書の購入 」参照		
10月6日(月)9:00	抽選結果発表	-	-	・CUC PORTAL「学生時間割表」画面より抽選科目申込結果の確認ができます。 ・抽選で当選した科目のみ、時間割表へ登録され、落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行いません） ・落選した場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。
1年生： 10月6日(月)9:00 ～10月8日(水)13:00	<u>二次履修登録期間</u> <u>(先着)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※学年毎に期間が異なります。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。
2年生： 10月6日(月)12:00 ～10月8日(水)13:00				
3年生： 10月6日(月)11:00 ～10月8日(水)13:00				
4年生： 10月6日(月)10:00 ～10月8日(水)13:00				
10月10日(金)	秋学期授業開始			
10月17日(金)13:00 ～10月21日(火)13:00	<u>三次履修登録期間</u> <u>(修正)</u>	変更不可	登録可能 取消可能	・履修科目の追加および取消が可能です。 ・定員が満たされていない科目を、先着順で登録できます。期間中は定員充足状況が変動しますので、定員に空きが出たか都度確認してください。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修内容にエラーが残された状態だと、履修登録を完了できません。 エラー解消をしたうえで手続きを完了させてください。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。

日程・期間	履修登録種類	左記期間の説明		
		事前履修科目	定員設定科目	概要
11月24日(月)13:00 ～11月26日(水)13:00	履修取消期間	変更不可	登録不可 取消可能	・履修科目の取消が可能です。追加はできません。 ・事前履修科目および必修科目以外は取り消すことが可能です。 ※履修取消によって卒業に必要な単位が不足することがないように十分注意してください。 ※「プロジェクト実践」の取消手続き方法は別途告示にて案内します。

Q A よくある問い合わせ

Q 一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。

A 二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q 履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。

A 履修登録期間外は、一切履修を変更できません。
履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上判断してください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。

A 履修登録が完了していない科目は、出席できません。
ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q 三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。

A 履修登録完了後、担当教員に問い合わせてください。教員によっては、すでにクラスプロファイル授業資料などから資料を公開している可能性もあります。

Q 履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。

A 履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

②卒業に必要な単位数を知る

本学に 4 年（3 年次編入学した者は 2 年）以上在学（休学期間を除く）し、以下に掲げる卒業要件を充足して、124 単位以上修得した者は卒業が認定されます。

卒業するためには、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を修得することと、合計で 124 単位以上修得することが必要です。

ただし、科目区分ごとに定められた卒業要件単位数を合計しても、124 単位には足りません。興味を持ってより深めたいと思った科目群などを多く履修し、合計単位数を満たす必要があります。

気になる人はチェック

☞卒業要件科目の科目群の説明など詳細を確認したい場合は、[教育課程](#)を確認してください。

【2019 年度～2024 年度入学者】卒業要件

区 分		単 位 履 修 要 件		
CUC基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	選択	0 単位以上
		社会科学	選択	0 単位以上
		自然科学	選択	0 単位以上
		小 計		6 単位以上
	外国語科目		選択	0 単位以上
	情報科目		必修	2 単位
	簿記会計科目		選択	0 単位以上
	体育科目		選択	0 単位以上
	キャリア科目		選択	0 単位以上
	日本語関連科目		選択	0 単位以上
小 計			12 単位以上	
サービス企業科目群	セミナー科目		選択必修	2 単位以上
	実践科目		必修	2 単位
	小 計			8 単位以上
専門科目群	サービス創造科目	必修	2 単位	
		選択必修	2 単位以上	
	小 計		18 単位以上	
	アカデミックコモン科目		必修	6 単位
	小 計		34 単位以上	
小 計			60 単位以上	
研究科目群		必修	16 単位	
卒業必要単位合計			124 単位以上	

※任意選択（どの科目群の科目でもよい）科目 28 単位が卒業要件単位に算入され、合計 124 単位となります。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

授業科目の種類

授業科目には、次のとおり 4 種類の区分があります。

授業科目の種類	説明
必修	単位を修得しないと卒業できない科目です。 「所属学部（学科）の学生として欠かすことのできないこと」を学ぶ科目になりますので、特に意欲的に学びましょう。
選択必修	選択科目のうち、決められた科目群から自身で選択して、一定の単位数を修得しなければならない科目です。 ※所定の単位数を超えて修得した単位については、選択科目の単位数として算入されます。
選択	必修・選択必修以外の科目です。
自由	単位は修得できますが、卒業要件単位数には算入されない科目です。

履修できる科目（授業科目配当表）

原則として、履修できる科目は授業科目配当表に記載のある科目となります（この他、単位互換科目、自由科目、特別講義があります）。

授業科目配当表に記載のない科目の単位修得をしても卒業要件には含まない場合があります。入学年度ごとにカリキュラムが異なりますので、履修登録の際には注意してください。

【授業科目配当表】

②「授業科目配当表」の確認方法

- 科目名の後に記載されている（ ）の数字は、科目の単位数です。

（例）アジアの歴史（2） → 単位修得時には 2 単位修得となる

- 列の縦線が引かれていない枠は、すべて第 1 年次～第 4 年次いつでも履修可能です。

（例）下図の太枠で示される科目は第 1 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次
		科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
人文 科学	必修	アジアの歴史(2)	近代日本文学(2)	性格心理学(2)	ヨーロッパの歴史(2)
		アメリカの文学と文化(2)	実学への招待(2)	世界の文学(2)	倫理学(2)
	選択	イギリスの文学と文化(2)	言語学(2)	哲学(2)	歴史学入門(2)
		イスラーム・アラブ文化論(2)	現代中国の思想(2)	日本史(2)	論理学(2)
	選択	演劇(2)	古典日本文学(2)	日本の文化(2)	海外短期文化研修Ⅰ(2)
		音楽史(2)	社会思想史(2)	東アジア文化論(2)	海外短期文化研修Ⅱ(2)
	選択	カウンセリング心理学(2)	宗教学(2)	美術史(2)	海外長期文化研修(4)
		教育学(2)	心理学入門(2)	Film Studies(2)	
共 通	必修	観光文化論(2)	国際関係論(2)	高度と倫理(2)	日本政治史(2)

- 列の縦線が引かれている枠は、縦線の右に記載されている年次以降履修可能です。

（例）下図の太枠で囲まれている科目は第 2 年次～第 4 年次で選択可能

区 分		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次
		科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)	科 目 (単位)
部 共 通 基 礎 科 目	必修	商学入門(2)	経済学入門(2)	経営学入門(2)	初級簿記Ⅰ(2)
		初級簿記Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅰ(2)	会計学総論Ⅰ(2)	会計学総論Ⅱ(2)
科 基 礎 科 目	選択	ファイナンス入門(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	ファイナンス入門(2)	マーケティング論Ⅲ(2)
		マーケティング論Ⅳ(2)	流通経済論Ⅰ(2)	流通経済論Ⅱ(2)	流通政策Ⅰ(2)
	選択	中小企業診断Ⅰ(2)	流通政策Ⅱ(2)	流通システム論(2)	流通システム論Ⅱ(2)
		中小企業診断Ⅱ(2)	観光文化論実証(2)	観光文化論(2)	観光文化論実証(2)
	選択	経営管理論(2)	流通論(2)	商業中国語(2)	中級簿記Ⅰ(2)
		マーケティング・プランニング論(2)	電子商取引論(2)	マーケティング論Ⅱ(2)	マーケティング論Ⅲ(2)
	選択	インターネット・社会論(2)	マーケティング論Ⅳ(2)	マーケティング論Ⅴ(2)	マーケティング論Ⅵ(2)
		情報科学概論(2)	マーケティング論Ⅶ(2)	マーケティング論Ⅷ(2)	マーケティング論Ⅸ(2)
	選択	情報処理(2)	マーケティング論Ⅹ(2)	マーケティング論Ⅺ(2)	マーケティング論Ⅻ(2)

基盤教育科目

区 分				第 1 年次 科 目 (単位)	第 2 年次 科 目 (単位)	第 3 年次 科 目 (単位)	第 4 年次 科 目 (単位)
CUC 基盤教育科目群	共通教養科目	人文科学	選択	アジアの歴史(2) 近代日本文学(2) 性格心理学(2) ヨーロッパの歴史(2) アメリカの文学と文化(2) 実学への招待(2) 世界の文学(2) 倫理学(2)	イギリスの文学と文化(2) 言語学(2) 哲学(2) 歴史学入門(2) イスラーム・アラブ文化論(2) 現代中国の思想(2) 日本史(2) 論理学(2)	演劇(2) 古典日本文学(2) 日本の文化(2) 音楽史(2) 社会思想史(2) 東アジア文化論(2) 宗教学(2) 美術史(2)	カウンセリング心理学(2) 教育学(2) 心理学入門(2) Film Studies (2) 海外短期文化研修Ⅰ(2) 海外短期文化研修Ⅱ(2) 海外長期文化研修(4)
		社会科学	選択	観光文化論(2) 国際関係論(2) 商業と倫理(2) 日本政治史(2) グローバル・アジア論(2) ジェンダー論(2)	Global Studies (2) 質的調査法(2) 政治学入門(2) 文化人類学(2) 経済と社会(2) 社会学(2)	現代社会と宗教(2) 社会調査法(2) 地理学と社会(2) 民俗学(2) 生活環境論(2) 福祉論(2)	日本国憲法(2) 社会ネットワーク論(2) 日本現代社会論(2) 世界の紛争と平和(2) 法学(2)
		自然科学	選択	宇宙科学(2) 環境と倫理(2) 情報と倫理(2) 生命と倫理(2) エネルギー論(2)	化学(2) コーチング論(2) スポーツ科学(2) 地球環境論(2) 健康科学(2)	科学技術史(2) 自然科学入門(2) 生物学入門(2) 統計学入門(2) 数学(2)	数と計算(2) 自然地理(2) 生物と機能(2) 物理学(2) 地球科学(2)
	外国語科目		選択	英語(A)Ⅰ(2) 英語(B)Ⅰ(2) 英語(C)Ⅰ(2) 英語(A)Ⅱ(2) 英語(B)Ⅱ(2) 英語(C)Ⅱ(2) 基礎英語Ⅰ(2) 基礎英語Ⅱ(2) スポーツ英語(2) ビジネス英語Ⅰ(2) ビジネス英語Ⅱ(2) ビジネス英語Ⅲ(2) 中級英語Ⅰ(2) 中級英語Ⅱ(2) 中級英語Ⅲ(2) プレゼンテーション英語(2)	ドイツ語(A)Ⅰ(2) ドイツ語(B)Ⅰ(2) ドイツ語(C)Ⅰ(2) ドイツ語(A)Ⅱ(2) ドイツ語(B)Ⅱ(2) ドイツ語(C)Ⅱ(2) ドイツ語Ⅰ(2) ドイツ語Ⅱ(2) ドイツ語Ⅲ(2) ドイツ語Ⅳ(2) フランス語Ⅰ(2) フランス語Ⅱ(2) フランス語Ⅲ(2) フランス語Ⅳ(2)	フランス語(A)Ⅰ(2) フランス語(B)Ⅰ(2) フランス語(C)Ⅰ(2) フランス語(A)Ⅱ(2) フランス語(B)Ⅱ(2) フランス語(C)Ⅱ(2) 基礎中国語会話Ⅰ(2) 基礎中国語会話Ⅱ(2) 基礎中国語文法Ⅰ(2) 基礎中国語文法Ⅱ(2) 中級中国語Ⅰ(2) 中級中国語Ⅱ(2) 上級中国語Ⅰ(2) 上級中国語Ⅱ(2)	中国語(A)Ⅰ(2) 中国語(B)Ⅰ(2) 中国語(C)Ⅰ(2) 中国語(A)Ⅱ(2) 中国語(B)Ⅱ(2) 中国語(C)Ⅱ(2) スペイン語Ⅰ(2) スペイン語Ⅱ(2) スペイン語Ⅲ(2) スペイン語Ⅳ(2) 韓国語Ⅰ(2) 韓国語Ⅱ(2) 韓国語Ⅲ(2) 韓国語Ⅳ(2)
	情報科目	必修		情報入門(2)			
		選択		情報実践(2)	ICT 基礎(2)	Web 基礎(2)	プログラミング基礎(2)
	簿記会計科目	選択		会計学への扉(2) 簿記特講(4)	税理実務研究Ⅰ(2) 税理実務研究Ⅱ(2)	経理実務入門(2) 税務実務入門(2)	
	体育科目	選択		基礎体育学実習(Ⅰ) 体育学実習Ⅰ(Ⅰ)			
	キャリア科目	選択		キャリアデザイン(2) 雇用と労働の法律(2)	企業研究(2) 職業・業界研究(2)	ビジネス探究(2) ホスピタリティ実践(2)	マナー・ディスカッション(2)
						インターンシップ(2) 就業力実践(2)	
	日本語関連科目	選択		文章表現(2) *日本語聴解Ⅰ(2) *日本語聴解Ⅱ(2) *日本語聴解Ⅲ(2)	*日本語読解Ⅰ(2) *日本語読解Ⅱ(2) *日本語読解Ⅲ(2)		

- (注) 1. 海外短期文化研修Ⅰ、Ⅱ、海外長期文化研修は、協定校に語学研修または交換留学した者が履修できる科目です。
2. *印の日本語聴解Ⅰ～Ⅲ・日本語読解Ⅰ～Ⅲは留学生のみの配当です。

サービス創造学部科目

区分				第1年次 科 目 (単位)	第2年次 科 目 (単位)	第3年次 科 目 (単位)	第4年次 科 目 (単位)
サービス企業科目群	セミナー科目		選択必修		サービス企業セミナー 1B(2)	企業実践知応用 1 (1)	企業実践知応用 2 (1)
			選択	サービス企業セミナー 1A(2)	サービス創造実践 3A (2)		
					サービス創造実践 1A～1D(各 1)	サービス創造実践 3B(2)	サービス創造実践 4A(2)
	実践科目		必修	プロジェクト入門(2)			
				調査法(2) ビジネスパーソンプランニング論(2) メディアコミュニケーションズ 1 (2) メディアコミュニケーションズ 2 (2)	インタビュー法(2) サービス体験デザイン論(2) Service Communication (2) American Pop Culture (2)	Effective Questioning Skills in Service (2) Positive Self Presence in Service (2) 英語と日本語でクラウドファンディング(2) ビジュアルコミュニケーションデザイン論(2)	
			選択		プロジェクト論(2) プロジェクト実践 2A～2F(各 2)	プロジェクト実践 3A～3C(各 4) プロジェクトマネジメント(2)	ビジネスリテラシー(2)
専門科目群	サービス創造科目	入門	必修	サービス創造入門(2)			
			選択	サービス創造入門 2(2)			
		基幹	選択	サービスマネジメント論(2)			
			必修		サービスマーケティング論(2)		
		展開	選択		サービスの人的資源管理論(2)	サービス創造ケーススタディセッション (2)	
			選択	フィットネスサービス論(2)	旅行レジャーサービス論(2)	ブランドサービス論(2)	スポーツ・エンターテインメントサービス論(2)
	アカデミックコモン科目	入門	必修	経営学入門(2)	マーケティング入門(2)		
			選択	経済学入門(2)	アカウントティング入門(2)		
		基幹	選択	経営組織論(2) 企業論(2) 経営戦略論(2)	経営管理論(2) 消費者行動論(2) マーケティング戦略論 1(2)	簿記入門(2) 情報処理(2) プログラミング 1(2)	現代ビジネス論 1(2)
					経営情報論(2) 中小企業論(2) マーケティング戦略論 2(2) マーケティング戦略論 3(2) 広告論(2) 経営革新論(2) ベンチャービジネス論(2) 経営学理論の応用(2) 経営哲学(2)	マーケティングケーススタディセッション 1(2) マーケティングケーススタディセッション 2(2) マーケティングコミュニケーション論(2) マーケティングリサーチ(2) 流通論(2) ロジスティクス論(2) 企業会計制度(2) 財務分析(2) 管理会計論(2)	情報システム(2) プログラミング 2(2) サービスと情報通信技術 1(2) サービスと情報通信技術 2(2) サービスとデータマイニング(2) ミクロ経済学(2) 行動経済学(2) 現代ビジネス論 2(2) 現代ビジネス論 3(2)
						企業財務論(2) 企業価値評価(2) 内部監査論(2)	経営学ケーススタディセッション(2) 内部統制評価(2) プログラミング 3(2)
研究科目群			必修	研究入門(2)	研究 2(2)	研究 3A(2) 研究 3B(2)	研究 4A(2) 研究 4B(2) 卒業研究(4)

注 1. 上記科目以外に「特別講義」として開講する科目があります。

2. 開講学期は年度により変わることがあります。また、事情により当該年度は不開講となる科目もあるので、いずれも告示を確認してください。

【履修できない科目】

以下の通りとなります。誤って履修登録しないよう注意してください。

カリキュラムが異なる科目	授業科目や卒業要件が異なりますので、自分が入学した年度の授業科目 配当表をよく確認し、異なる入学年度のカリキュラム科目を誤って履修 しないよう注意してください。 カリキュラム改定された場合、 授業科目読替・新設・廃止一覧 を確認し てください。
単位修得済み科目	一度単位を認定された科目（単位修得済みの科目）は、再履修するこ とができません。
同一名称科目	授業担当教員や開講時限が異なっても、同一名称の科目は重複して 履修することはできません。 また、「体育学実習」の同一種目の場合も重複履修することはできませ ん。
同一時限科目	一つの曜日・時限に二つ以上の科目を履修登録することはできません。

Q A よくある問い合わせ

Q 他学部の科目を履修したいが、履修可能か。

A 原則、他学部の科目は履修できません。履修できる科目は、[授業科目配当表](#)に記載のある科目
となります。

授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。

【履修にあたり条件がある科目について】

以下の科目の履修にあたっては条件があります。ステップアップ科目については、次学期以降の履修登録に影響が出ますので、計画的に履修を行ってください。

ステップアップ科目	条件
企業会計制度	「アカウンティング入門」単位修得者のみ履修可能
企業財務論	
財務分析	
内部監査論	「企業会計制度」単位修得者のみ履修可能
内部統制評価	「内部監査論」単位修得者のみ履修可能
情報処理	「情報入門」単位修得者のみ履修可能
特別講義（金融サービス論 II）※	「金融サービス論」単位修得者のみ履修可能
サービスと情報通信技術 2 ※	「サービスと情報通信技術 I」単位修得者のみ履修可能
研究 3 B	「研究 3 A」単位修得者のみ履修可能
研究 4 B	「研究 4 A」単位修得者のみ履修可能
卒業研究	

※「特別講義（金融サービス論 II）」および「サービスと情報通信技術 2」の 2 科目は、2023 年度以降入学者が履修をする際に制限があります。

履修に制限がある科目	条件
研究 2	「研究入門」を受講したことがある者のみ履修可能
研究 3 A	「研究 2」を受講したことがある者のみ履修可能
研究 4 A	「研究 3 B」を受講したことがある者のみ履修可能
ICT 基礎	「情報入門」を受講したことがある者のみ履修可能
Web 基礎	
日本語読解 I ～ III	留学生のみ履修可能
日本語聴解 I ～ III	

【体育科目について】

- ・「体育学実習」、「基礎体育学実習」を同学期に履修することができます。
- ・「体育学実習」は、在学中 1 単位のみ修得可能です。修得済みの学生は種目名が異なっている場合でも、複数回履修することはできませんので注意してください。
- ・傷病等により運動ができないまたは禁止されている者は、担当教員が許可した場合、「特別体育」を履修できます。履修希望者は 9 月 25 日(木)までに教務課へメールにて申し出てください。

件名：【履修相談】特別体育について

本文：(1) 学籍番号 (2) 氏名 (3) 相談内容

送付先：kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

事前履修科目

必修科目など、履修することが指定されている科目は、履修登録を行う前に各自の時間割に登録されています。履修登録期間に各自で登録する必要はありません。これを「事前履修科目」と呼んでいます。

事前履修科目の曜日・時限は 10 月 1 日(水)10:00 以降に CUC PORTAL の「学生時間割表」で確認できます。各自で曜日・時限の指定・変更はできませんので、学生時間割表で指定された曜日・時限の授業に出席してください。

なお、指定された曜日・時限以外の授業に出席しても単位修得はできませんので注意してください。

対象 学年	学期	科目名	備考
2 年生	春	アカウンティング入門	クラス指定あり
	秋	研究2	クラス指定あり
3 年生	春	研究3	クラス指定あり
	秋	研究3	クラス指定あり
4 年生	春	研究4	クラス指定あり
	秋	研究4	クラス指定あり
		卒業研究	クラス指定あり
2 ～ 4 年生	春	プロジェクト実践2A～2F	クラス指定あり
		プロジェクト実践3A～3C	通年科目、クラス指定あり
	秋	プロジェクト実践2A～2F	クラス指定あり
		プロジェクト実践3A～3C	通年科目、クラス指定あり

※「プロジェクト実践 2」「プロジェクト実践 3」は選択科目です。選考結果を基に大学事務局にて事前履修登録を行います。

※事前履修科目は全科目、クラス指定があります。告示等で自身の履修クラスを確認して、指定のクラス・曜日時限の授業に参加してください。指定以外のクラス・曜日時限に出席していても、単位修得はできませんので注意してください。

※「研究 3」「研究 4」は、単位修得した順に A→B の成績評価がつきます。なお、履修科目名称は「研究 3」「研究 4」となります。

※「卒業研究」は「研究 4B」と同時履修になりますが、「研究 4A」の単位修得者のみ履修登録が可能となります。

Q A

よくある問い合わせ

Q 必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。

再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。

A 再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は[再履修科目](#)を参照してください。

② 単位認定申請方法について

所定の資格を取得した場合、認定科目の単位が未修得の学生に対して、単位認定の申請を受け付けます。
単位認定を希望する場合は、以下を確認のうえ、申請してください。

【申請期間】※第1期第2期ともに全学部全学年対象

第1期申請	2025年9月1日(月)12時～9月12日(金)12時まで
第2期申請	2025年9月22日(月)12時～10月2日(木)12時まで

【認定科目および認定条件】

対象資格、認定科目は学部、入学年度により異なりますので、下表を確認のうえ申請してください。

学部	該当資格	認定科目	認定時期	注意事項
【政策情報学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次～	■英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要のある（必修英語科目の単位を１度落としている）学生のみ対象となります。 ②準２級による単位認定者が次学期以降に２級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は１科目となります。
	実用英語技能検定準２級 ※英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱの中から １科目選択可能	英語（Ａ）Ⅰ	1年次 秋学期～	
		英語（Ｂ）Ⅰ		
	実用英語技能検定２級 ※英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱの中から ２科目選択可能	英語（Ａ）Ⅱ	2年次 春学期～	
【サービス創造学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次～	
	簿記実務検定試験（全商）２級以上合格	簿記入門		
	簿記能力検定（全経）２級以上合格			
	日商簿記検定試験 ３級以上合格			
【人間社会学部】 (2019年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次～	
【国際教養学部】 (2020年度以降 入学者対象)	ITパスポート試験	ICT基礎	1年次～	■英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱについて ①必修英語の選択者で、再履修クラスを履修する必要のある（必修英語科目の単位を１度落としている）学生のみ対象となります。 ②準２級による単位認定者が次学期以降に２級を取得した場合、追加で単位認定ができる科目は１科目となります。
	実用英語技能検定準２級 ※英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱの中から １科目選択可能	英語（Ａ）Ⅰ	1年次 秋学期～	
		英語（Ｂ）Ⅰ		
	実用英語技能検定２級 ※英語（Ａ）・（Ｂ）Ⅰ・Ⅱの中から ２科目選択可能	英語（Ａ）Ⅱ	2年次 春学期～	
		英語（Ｂ）Ⅱ		

【申請手順】

下記の Microsoft Forms の URL より、順番に沿って質問に回答し、申請を行う科目の認定条件となっている資格試験の合格証書ファイルを提出（アップロード）してください。

第1期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/Rg27dGiWKz>

第2期指定 URL:

<https://forms.office.com/r/X3kiuQwN6u>

※合格証書ファイルの形式は PDF 形式もしくは画像データのみ受け付けます。

Microsoft Forms による申請は**1人1回のみ**実施可能となっているため、申請内容に間違いがないようにご注意ください。

※諸般の事情により手元に合格証書がない、用意できない場合には、

Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までその旨ご連絡ください。

【連絡先】

教務課電話番号:047-373-9754

教務課メールアドレス:kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

メールを送る際は、件名を「2025年度秋学期 単位認定申請の保有資格合格証書について」とし、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

【申請期間における注意事項】

- 以下の学生は申請する必要はありません。
 - ・2025 年度春学期に単位認定の申請をして認められた学生
 - ・2025 年度春学期に認定科目の単位を修得している学生
- Microsoft Forms の回答（申請）、合格証書の正しい提出が行われなかった場合には申請を受理できません。
- 単位認定を希望する科目の履修登録は行わないでください。当該科目の履修登録がなされていた場合には申請が取り下げたものとみなします。
- 今学期中に休学した場合は、単位認定となりません。復学後に再度申請が必要となりますのでご注意ください。
- 単位認定が認められた場合には当該学期の修得単位として扱われ、学期末の成績公開時に成績照会に反映されますので、学期中の当該授業の受講は不要です。
- 単位認定が認められた場合、その単位は「学期履修単位数の上限」には含まれません。

Q A よくある問い合わせ

Q 単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。

A 申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。
(第1期：9/17(水)～9/26(金)頃 第2期：10/3(金)～10/6(月)頃)

Q 申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。

A Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。

Q 1度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。

A Microsoft Forms による申請は 1人1回のみとなります。
申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。
メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。

Q 指定 URL をクリックしてもMicrosoft Forms にログインできない。

A Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。
まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。
申請期間中にも関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。
(〇〇〇〇〇〇@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

④自分の授業時間割を組む

【自分の授業時間割を組む手順】

手順	内容
1	履修登録できる単位数を確認する
2	授業時間割表を確認する
3	各科目における注意点を確認する
4	気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する
5	自分の時間割を決める

手順 1：履修登録できる単位数を確認する

【履修上限単位数】

学期の履修上限単位数は入学年度ごとに異なります。

入学年度	履修上限単位数	履修上限単位数には含まない科目
2024 年度入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 24 単位まで履修が可能）	・卒業研究 ・集中授業 ・自由科目 ・海外短期文化研修 ・海外長期文化研修
2020 年度～2023年度入学者	22 単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで履修が可能）	
2019 年度以前入学者	22単位（前学期 GPA3.0 以上の場合には 26 単位まで、4 年次生は GPA 問わず 26 単位まで履修が可能）	

【自身で履修登録できる単位数】

履修上限単位数から、事前履修科目の合計単位数を引いて、残った単位数が自身で履修できる単位数です。

※事前履修科目および単位数は[事前履修科目](#)を参照してください

履修上限単位数 _____単位	—	事前履修科目の合計単位数 _____単位	=	自身で履修できる単位数 _____単位
--------------------	---	-------------------------	---	------------------------

Q A よくある問い合わせ

Q

前学期 GPA3.0 以上は 26 単位（2024 年度入学者は 24 単位）履修可能という制度だが、「前学期」とは 1 つ前の学期の「学期 GPA」か、それとも「1 年間（春学期・秋学期）の GPA」か。

A

「前学期」の GPA とは、以下の GPA を指します。前年の 1 年間（春学期・秋学期）ではありません。

- ・春学期の履修時：前年度 秋学期の GPA
- ・秋学期の履修時：同年度 春学期の GPA

※GPA は CUC PORTAL「成績照会」で確認してください。

【推奨される修得単位数】

履修上限単位数と同様に、その学期に修得することが望ましい推奨修得単位数が設定されています。この推奨修得単位数にしたがって単位を修得することによって、4 年間で無理なく卒業ができるようになりますので、履修計画の際の参考にしてください。

学年	セメスター	推奨修得単位数	修得可能単位数
1	1	18	22
	2	36	44
2	3	54	66
	4	72	88
3	5	90	110
	6	108	132
4	7	120	154
	8（卒業）	124	176

手順2：授業時間割表を確認する

以下の表にて、時間割表を確認してください。

【授業時間割表（2025年度秋学期）】

※各科目における補足説明

- ・特別講義：今日の社会で関心の高いテーマ等を取り上げた科目であり、単年度での開講となります。
どの卒業要件単位に含まれるかは、以下時間割表の「区分」を参照してください。
- ・オンデマンド：曜日時限の指定がない科目です。詳細は[遠隔授業の受講](#)を参照してください。

【区分】 ☐ 共教：CUC 基盤教育機構群 共通教養科目 ☐ 外国：CUC 基盤教育機構群 外国語科目 ☐ 情報：CUC 基盤教育機構群 情報科目 ☐ 簿記：CUC 基盤教育機構群 簿記会計科目 ☐ 体育：CUC 基盤教育機構群 体育科目 ☐ キャリア：CUC 基盤教育機構群 キャリア科目 ☐ 日本：CUC 基盤教育機構群 日本語関連科目 ☐ セミナー：サービス企業科目群 セミナー科目 ☐ 実践：サービス企業科目群 実践科目 ☐ サ入門：専門科目群 サービス創造科目 入門 ☐ サ基幹：専門科目群 サービス創造科目 基幹 ☐ サ展開：専門科目群 サービス創造科目 展開 ☐ ア入門：専門科目群 アカデミックコモン科目 入門 ☐ ア基幹：専門科目群 アカデミックコモン科目 基幹 ☐ 研究：研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修：必修科目 ☐ 必修：必修科目の再履修クラス ☐ 選択：選択必修科目 ☐ 空白：選択科目 ☐ 自由：自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4: 1～4 年生が履修可能	【備考】 ※1 「日本語聴解 I～III」「日本語読解 I～III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	--	---

2025年9月16日現在

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	備考
月	1	共教		1-4	化学	勝又 敏行	
月	1	共教		1-4	健康科学	三上 竜之介	
月	1	外国		1-4	基礎英語 I	菅原 典子	
月	1	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫	
月	1	情報		1-4	Web 基礎	鎌田 光宣	※3
月	1	体育		1-4	体育学実習（バレーボール）	武井 大輔	
月	2	共教		1-4	コーチング論	鷲谷 浩輔	
月	2	外国		1-4	プレゼンテーション英語	大勝 裕史	
月	2	情報		1-4	プログラミング基礎	長尾 雄行	
月	2	体育		1-4	体育学実習（パーソナルトレーニング）	三上 竜之介	
月	2	体育		1-4	体育学実習（バレーボール）	武井 大輔	
月	2	ア入門		1-4	経済学入門	中山 琢夫	
月	2	ア基幹		1-4	企業論	石井 泰幸	
月	2	サ展開		2-4	物流サービス論	大下 剛	
月	2	サ展開		3-4	プロフェッショナル・アカウンティング サービス論	坂井 恵	
月	2	研究	必修	2-4	研究 2	宮下 美砂子	
月	3	共教		1-4	アメリカの文学と文化	大勝 裕史	
月	3	共教		1-4	ヨーロッパの歴史	師尾 晶子	
月	3	共教		1-4	地球科学	鈴木 健太	
月	3	外国		1-4	基礎中国語文法 I	康 宏理	
月	3	外国		1-4	ドイツ語 II	村井 浩一	
月	3	体育		1-4	基礎体育学実習	三上 竜之介	
月	3	ア基幹		1-4	マーケティング戦略論 I(競争戦略)	安藤 和代	
月	3	サ展開		1-4	特別講義（プライダル概論）【ブレンド】	増田 榮美	
月	3	サ展開		2-4	情報サービス論	仲野 友樹	
月	3	研究	必修	2-4	研究 2	今井 重男	
月	3	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	松本 大吾	

【区分】 ☐ 共教:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ セミナー:サービス企業科目群_セミナー科目 ☐ 実践:サービス企業科目群_実践科目 ☐ サ入門:専門科目群_サービス創造科目_入門 ☐ サ基幹:専門科目群_サービス創造科目_基幹 ☐ サ展開:専門科目群_サービス創造科目_展開 ☐ ア入門:専門科目群_アカデミック共通科目_入門 ☐ ア基幹:専門科目群_アカデミック共通科目_基幹 ☐ 研究:研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修:必修科目 ☐ 必再:必修科目の再履修クラス ☐ 選必:選択必修科目 ☐ 選自:選択科目 ☐ 自由:自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能	【備考】 ※1 「日本語読解 I~III」「日本語読解 I~III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	備考
月	4	共教		1-4	社会思想史	荒川 敏彦	
月	4	共教		1-4	哲学 【ブレンド】	枅岡 大輔	
月	4	共教		1-4	美術史	山内 舞子	
月	4	共教		1-4	Film Studies	酒井 志延	
月	4	外国		1-4	基礎英語 I	菅原 典子	
月	4	キャリア		1-4	マナー・ディスカッション	庄司 祐子	
月	4	日本		1-4	特別講義(特修日本事情 B)	施 敏	※1
月	4	ア基幹		1-4	経営組織論(サービス創造)	石井 泰幸	
月	4	サ展開		1-4	特別講義(リポートウエディング概論) 【ブレンド】	増田 榮美	
月	4	ア基幹		2-4	経営革新論	池田 武俊	
月	4	ア基幹		3-4	内部統制評価	坂井 恵	
月	4	研究	必修	2-4	研究 2	仁平 京子	
月	4	研究	必修	3-4	研究 3	松本 大吾	
月	5	研究	必修	1-4	研究基礎 A/研究基礎 (再履修)	枅岡 大輔	
月	5	研究	必修	2-4	研究 2	松本 大吾	
火	1	共教		1-4	社会ネットワーク論	相良 陽一郎	
火	1	共教		1-4	地理学と社会	薄井 晴	
火	1	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和	※2 (週 2 回授業)
火	1	体育		1-4	基礎体育学実習	鷲谷 浩輔	
火	2	共教		1-4	商業と倫理	影浦 亮平	
火	2	共教		1-4	イギリスの文学と文化	酒井 志延	
火	2	外国		1-4	ドイツ語 III	森田 里津子	
火	2	外国		1-4	スペイン語 I	日高 美奈子	
火	2	体育		1-4	体育学実習(フットサル&サッカー)	竹内 久善	
火	2	日本		1-4	文章表現	行名 則子	
火	2	ア基幹		2-4	行動経済学	岸谷 暁	
火	2	サ展開		2-4	健康サービス論	西根 英一	
火	2	研究	必修	2-4	研究 2	坂井 恵	
火	2	研究	必修	2-4	研究 2	横山 真弘	
火	2	研究	必修	2-4	研究 2	劉 ギョクテイ	
火	2	研究	必修	3-4	研究 3	今井 重男	
火	2	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	安藤 和代	
火	2	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	石井 泰幸	
火	3	共教		1-4	数学	大矢野 潤	
火	3	外国		1-4	ドイツ語 II	森田 里津子	
火	3	外国		1-4	スペイン語 II	日高 美奈子	
火	3	簿記		1-4	税務実務入門	堀 公人	
火	3	体育		1-4	体育学実習(フットサル&サッカー)	竹内 久善	
火	3	キャリア		1-4	雇用と労働の法律	手嶋 進	
火	3	日本		1-4	文章表現	行名 則子	
火	3	日本		1-4	日本語読解 II	沢野 美由紀	※1
火	3	ア基幹		1-4	情報処理	新井 裕太	
火	3	実践		1-4	メディアコミュニケーションズ 2	MILLER Kevin	
火	3	サ展開		2-4	交通宿泊サービス論	具 敏靖	
火	3	実践		2-4	特別講義(現代サービス論 I)	藤本 耕平	
火	3	研究	必修	3-4	研究 3	安藤 和代	
火	3	研究	必修	3-4	研究 3	坂井 恵	
火	3	研究	必修	3-4	研究 3	山田 耕生	

【区分】 ☐ 共教:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ セミナー:サービス企業科目群_セミナー科目 ☐ 実践:サービス企業科目群_実践科目 ☐ サ入門:専門科目群_サービス創造科目_入門 ☐ サ基幹:専門科目群_サービス創造科目_基幹 ☐ サ展開:専門科目群_サービス創造科目_展開 ☐ ア入門:専門科目群_アカデミックコモン科目_入門 ☐ ア基幹:専門科目群_アカデミックコモン科目_基幹 ☐ 研究:研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修:必修科目 ☐ 必再:必修科目の再履修クラス ☐ 選必:選択必修科目 ☐ 選白:選択科目 ☐ 自由:自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能	【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修がてきる科目です。 ※2 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修種類	配当年次	授業科目名	教員名	備考
火	3	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	仲野 友樹	
火	3	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	仁平 京子	
火	4	共教		1-4	アメリカの文学と文化	酒井 志延	
火	4	共教		1-4	心理学入門	中村 晃	
火	4	共教		1-4	歴史学入門	師尾 晶子	
火	4	外国		1-4	フランス語 III	影浦 亮平	
火	4	外国		1-4	スペイン語 IV	日高 美奈子	
火	4	日本		1-4	日本語聴解 II	沢野 美由紀	※1
火	4	ア基幹		1-4	経営戦略論(サービス創造)	池田 武俊	
火	4	ア基幹		2-4	マーケティングケースディスカッション 2	松本 大吾	
火	4	研究	必修	2-4	研究 2	安藤 和代	
火	4	研究	必修	2-4	研究 2	藤本 耕平	
火	4	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	山田 耕生	
火	4	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	横山 真弘	
火	5	共教		1-4	性格心理学	中村 晃	
火	5	日本		1-4	日本語読解 III	沢野 美由紀	※1
火	5	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	池田 武俊	
火	5	研究	必修	4	研究 4・卒業研究【リアルタイム】	吉田 優治	
水	1	共教		1-4	生活環境論	影浦 亮平	
水	1	共教		1-4	日本現代社会論	田中 信一郎	
水	1	外国		1-4	ビジネス英語 III	加藤 澄恵	
水	1	外国		1-4	韓国語 I	李 女正 姫	
水	1	簿記		1-4	簿記特講	東条 美和	※2 (週 2 回授業)
水	1	体育		1-4	体育学実習 (バドミントン)	藤野 和樹	
水	1	体育		1-4	体育学実習 (パーソナルトレーニング)	鷲谷 浩輔	
水	1	体育		1-4	体育学実習 (卓球)	佐藤 優希	
水	1	キャリア		1-4	企業研究	手嶋 進	
水	2	共教		1-4	環境と倫理 2024 年度以前入学者用	中山 琢夫	
水	2	共教		1-4	コーチング論	鷲谷 浩輔	
水	2	共教		1-4	生命と倫理	関口 雄祐	
水	2	外国		1-4	基礎英語 I	加藤 澄恵	
水	2	外国		1-4	中級英語 II	村上 眞紀	
水	2	外国		1-4	中級英語 III	作田 久美子	
水	2	外国		1-4	フランス語 II	影浦 亮平	
水	2	外国		1-4	韓国語 II	李 女正 姫	
水	2	情報	必修	1-4	情報入門 (再履修) 2024 年度以前入学者用	赤木 茅	
水	2	簿記		1-4	税理実務研究 II	今田 隆幸	
水	2	体育		1-4	体育学実習 (バドミントン)	藤野 和樹	
水	2	体育		1-4	体育学実習 (卓球)	佐藤 優希	
水	2	キャリア		1-4	ビジネス探究	手嶋 進	
水	2	サ基幹	選必	1-4	サービスマネジメント論【リアルタイム】	吉田 優治	
水	2	セミナー		1-4	サービス創造実践 3A(特命教授と学ぶエンタメ講座)	西尾 淳	
水	2	実践		1-4	American Pop Culture	MILLER Kevin	
水	2	ア基幹		2-4	財務分析	清水 喜久	
水	2	研究	必修	2-4	研究 2	具 敏靖	
水	2	研究	必修	2-4	研究 2	芳賀 悠基	
水	2	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	坂井 恵	
水	3	共教		1-4	宗教学	加藤 弘二郎	

【区分】 ☐ 共教:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ セミナー:サービス企業科目群_セミナー科目 ☐ 実践:サービス企業科目群_実践科目 ☐ サ入門:専門科目群_サービス創造科目_入門 ☐ サ基幹:専門科目群_サービス創造科目_基幹 ☐ サ展開:専門科目群_サービス創造科目_展開 ☐ ア入門:専門科目群_アカデミックコモン科目_入門 ☐ ア基幹:専門科目群_アカデミックコモン科目_基幹 ☐ 研究:研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修:必修科目 ☐ 必再:必修科目の再履修クラス ☐ 選必:選択必修科目 ☐ 選自:選択科目 ☐ 自由:自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能	【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修がてきる科目です。 ※2 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修 種類	配当 年次	授業科目名	教員名	備考
水	3	共教		1-4	国際関係論	原 民樹	
水	3	外国		1-4	中級英語 I	作田 久美子	
水	3	外国		1-4	ビジネス英語 III	加藤 澄恵	
水	3	外国		1-4	中級中国語 I	張 麗	
水	3	外国		1-4	韓国語 III	李 女正 姫	
水	3	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子	※2 (週 2 回授業)
水	3	簿記		1-4	税理実務研究 I	今田 隆幸	
水	4	共教		1-4	論理学	平原 卓	
水	4	共教		1-4	国際関係論	原 民樹	
水	4	外国		1-4	基礎英語 II	加々美 成美	
水	4	外国		1-4	ビジネス英語 II	加藤 澄恵	
水	4	外国		1-4	韓国語 IV	李 女正 姫	
水	4	簿記		1-4	簿記特講	勝谷 千恵子	※2 (週 2 回授業)
水	4	ア基幹		1-4	簿記入門	道上 公貴	
水	4	ア基幹		2-4	現代ビジネス論 2(DX 時代の地域課題解決)	米澤 政洋	
水	5	簿記		1-4	経理実務入門	勝谷 千恵子	
木	1	共教		1-4	音楽史 【リアルタイム】	伊藤 美由紀	
木	1	共教		1-4	日本史	町田 明広	
木	1	共教		1-4	法学	合原 理映	
木	1	共教		1-4	宇宙科学	内田 俊郎	
木	1	体育		1-4	基礎体育学実習	藤野 和樹	
木	1	共教		1-4	特別講義(芸術と商業文化)	西尾 淳	
木	2	共教		1-4	東アジア文化論	佐和田 成美	
木	2	共教		1-4	日本国憲法	合原 理映	
木	2	共教		1-4	自然科学入門	内田 俊郎	
木	2	情報		1-4	情報実践	柏木 将宏	
木	2	ア基幹		1-4	消費者行動論(サービス創造)	仁平 京子	
木	2	ア基幹		1-4	経営管理論(サービス創造)	松村 洋平	
木	2	セミナー	選必	2-4	サービス企業セミナーⅠB(サービス業界入門)	滝澤 淳浩	
木	2	ア基幹		2-4	広告論	劉 ギョクテイ	
木	2	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	大下 剛	
木	3	共教		1-4	現代社会と宗教	荒川 敏彦	
木	3	共教		1-4	物理学 2024 年度以前入学者用	中山 琢夫	
木	3	外国		1-4	ドイツ語 I	小松 真帆	
木	3	外国		1-4	フランス語 IV	橋本 克己	
木	3	キャリア		1-4	職業・業界研究	手嶋 進	
木	3	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子	
木	3	ア基幹		1-4	情報処理	仲野 友樹	
木	3	ア基幹		2-4	経営哲学	小野瀬 拓	
木	3	サ基幹	選必	2-4	サービスマーケティング論(サービス創造)	劉 ギョクテイ	
木	3	実践		2-4	プロデュース論	西尾 淳	
木	3	サ展開		2-4	外食サービス論【リアルタイム】	吉田 優治	
木	3	研究	必修	3-4	研究 3	清水 喜久	
木	3	研究	必修	3-4	研究 3	神保 雅人	
木	4	共教		1-4	アジアの歴史	王 瑞来	
木	4	共教		1-4	世界の文学	橋本 克己	
木	4	共教		1-4	経済と社会	田中 信一郎	
木	4	外国		1-4	ドイツ語 III	小松 真帆	

【区分】 ☐ 共教:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ セミナー:サービス企業科目群_セミナー科目 ☐ 実践:サービス企業科目群_実践科目 ☐ サ入門:専門科目群_サービス創造科目_入門 ☐ サ基幹:専門科目群_サービス創造科目_基幹 ☐ サ展開:専門科目群_サービス創造科目_展開 ☐ ア入門:専門科目群_アカデミックコンモ科目_入門 ☐ ア基幹:専門科目群_アカデミックコンモ科目_基幹 ☐ 研究:研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修:必修科目 ☐ 必再:必修科目の再履修クラス ☐ 選必:選択必修科目 ☐ 選白:選択科目 ☐ 自由:自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能	【備考】 ※1「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修がてきる科目です。 ※2「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	---	--

曜日	時限	区分	履修 種類	配当 年次	授業科目名	教員名	備考
木	4	簿記		1-4	簿記特講	渡邊 圭	※2 (週 2 回授業)
木	4	キャリア		1-4	ホスピタリティ実践	佐野 昭子	
木	4	実践		1-4	英語と日本語でクラウドファンディング	石田 早苗	
木	4	サ展開		1-4	旅行レジャーサービス論	具 敏靖	
木	4	ア基幹		1-4	プログラミング I	神保 雅人	
木	4	ア基幹		2-4	サービスとデータマイニング	横山 真弘	
木	4	ア基幹		2-4	ベンチャービジネス論	今井 和夫	
木	4	ア基幹		2-4	経営学理論の応用	小野瀬 拓	
木	4	セミナー		2-4	サービス創造実践 4A(企業に学ぶマーケティング)	安藤 和代	
木	4	研究	必修	2-4	研究 2	池田 武俊	
木	4	研究	必修	2-4	研究 2	石井 泰幸	
木	4	研究	必修	2-4	研究 2	清水 喜久	
木	4	研究	必修	2-4	研究 2	山田 耕生	
木	4	研究	必修	2-4	研究 2	大下 剛	
木	4	研究	必修	3-4	研究 3	仲野 友樹	
木	4	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	小池 健人	
木	5	研究	必修	1-4	研究基礎 A/研究基礎 (再履修)	枘岡 大輔	
木	5	ア基幹		1-4	特別講義(起業論)	福山 敦士	
木	5	ア基幹		2-4	特別講義(デジタル・マーケティング)	芳賀 悠基	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3	池田 武俊	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3	石井 泰幸	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3【リアルタイム】	吉田 優治	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3	仁平 京子	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3	横山 真弘	
木	5	研究	必修	3-4	研究 3	大下 剛	
金	1	共教		1-4	倫理学【ブレンド】	影浦 亮平	
金	1	体育		1-4	基礎体育学実習	藤野 和樹	
金	1	体育		1-4	体育学実習(バスケットボール)	池田 英治	
金	2	共教		1-4	社会学	磯山 友幸	
金	2	外国		1-4	中級中国語 II	呉 仲華	
金	2	外国		1-4	フランス語 I	影浦 亮平	
金	2	体育		1-4	体育学実習(バスケットボール)	池田 英治	
金	2	実践		1-4	特別講義(キャリアマネジメントとセルフマーケティング)	中村 聡宏	
金	2	ア基幹		2-4	マーケティング戦略論 3(ブランド戦略)	芳賀 悠基	
金	2	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(メディア)	西尾 淳	
金	2	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(プロモーション)	MILLER Kevin	
金	2	実践		2-4	プロジェクト実践 2B(新サービス研究開発 2)	藤本 耕平	
金	3	共教		1-4	教育学	沖塩 有希子	
金	3	外国		1-4	基礎中国語文法 II	植松 希久磨	
金	3	簿記		1-4	簿記特講	渡邊 圭	※2 (週 2 回授業)
金	3	キャリア		1-4	キャリアデザイン	片田 洋平	
金	3	情報		1-4	特別講義(データサイエンス II)	赤木 茅、他	
金	3	ア基幹		2-4	管理会計論	清水 喜久	
金	3	ア基幹		2-4	サービスと情報通信技術 2【リアルタイム】	横山 真弘	
金	3	ア基幹		2-4	ロジスティクス論	大下 剛	
金	3	ア基幹		2-4	中小企業論	畠山 健太	
金	3	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	今井 重男	
金	3	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	神保 雅人	

【区分】 ☐ 共教:CUC 基盤教育機構群_共通教養科目 ☐ 外国:CUC 基盤教育機構群_外国語科目 ☐ 情報:CUC 基盤教育機構群_情報科目 ☐ 簿記:CUC 基盤教育機構群_簿記会計科目 ☐ 体育:CUC 基盤教育機構群_体育科目 ☐ キャリア:CUC 基盤教育機構群_キャリア科目 ☐ 日本:CUC 基盤教育機構群_日本語関連科目 ☐ セミナー:サービス企業科目群_セミナー科目 ☐ 実践:サービス企業科目群_実践科目 ☐ サ入門:専門科目群_サービス創造科目_入門 ☐ サ基幹:専門科目群_サービス創造科目_基幹 ☐ サ展開:専門科目群_サービス創造科目_展開 ☐ ア入門:専門科目群_アカデミックコンモン科目_入門 ☐ ア基幹:専門科目群_アカデミックコンモン科目_基幹 ☐ 研究:研究科目群	【履修種類】 ☐ 必修:必修科目 ☐ 必再:必修科目の再履修クラス ☐ 選必:選択必修科目 ☐ 選白:選択科目 ☐ 自由:自由科目 【配当年次】 履修可能な学年を示しています。 (例) 1-4:1~4 年生が履修可能	【備考】 ※1 「日本語聴解 I~III」「日本語読解 I~III」「特別講義(特修日本事情 A)」「特別講義(特修日本事情 B)」は留学生のみ履修ができる科目です。 ※2 「簿記特講」は週 2 回の授業で 4 単位の科目となります。 ※3 「Web 基礎」「ICT 基礎」は「情報入門」を履修した後に履修可能となります。
--	---	---

曜日	時限	区分	履修 種類	配当 年次	授業科目名	教員名	備考
金	4	共教		1-4	ジェンダー論	坂本 洋子	
金	4	外国		1-4	ドイツ語 II	LIEBHART Anette	
金	4	情報		1-4	情報実践	赤木 茅	
金	4	キャリア		1-4	キャリアデザイン	片田 洋平	
金	4	共教		1-4	特別講義（スポーツビジネス実践）	中村 聡宏	
金	4	サ展開		2-4	ファッションサービス論	馬場 正実	
金	4	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(コミュニティカフェ)	芳賀 悠基	
金	4	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(THE UD)	西尾 淳	
金	4	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(THE UD)	MILLER Kevin	
金	4	実践		2-4	プロジェクト実践 3C（ブライダルサービス）	宮下 美砂子	
金	4	研究	必修	4	研究 4・卒業研究	清水 喜久	
金	5	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(パーティ)	松本 大吾	
金	5	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(パーティ)	MILLER Kevin	
金	5	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(スポーツビジネス)	横山 真弘	
金	5	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(スポーツビジネス)	新井 裕太	
金	5	実践		2-4	プロジェクト実践 3C(リラックスサービス)	西尾 淳	
オンデマンド		共教		1-4	情報と倫理 【オンデマンド】	長濱 和代	
		共教		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎	
		共教		1-4	政治学入門 【オンデマンド】	田中 信一郎	
		共教		1-4	エネルギー論 【オンデマンド】	中山 琢夫	
		情報		1-4	ICT 基礎 【オンデマンド】	鎌田 光宣	※3
		情報		1-4	ICT 基礎 【オンデマンド】	小林 直人	※3
		サ展開		1-4	特別講義（サービスと生活）【オンデマンド】	宮下 美砂子	
		ア基幹		2-4	企業会計制度【オンデマンド】	坂井 恵	
		ア基幹		2-4	ミクロ経済学【オンデマンド】	大澤 美和	

Q A よくある問い合わせ

Q 履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。

A 事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q 時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。

A 履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q 必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。

A 学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は[再履修科目](#)を確認してください。

Q 自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいのか分からない。

A 学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q 科目名の末尾に I・II、(1)・(2)等がついている科目について、I、(1)の単位を修得していなくても II、(2)を履修登録できるのか。

A 学部で条件が定められていなければ履修登録することができですが、II、(2)を履修する場合、I、(1)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。
学部で条件が定められている科目については[履修にあたり条件がある科目について](#)を参照してください。

手順3：各科目における注意点を確認する

【再履修科目】

再履修とは、不合格になった科目を翌学期以降に再び履修することをいいます。

必修科目において再履修できる授業は下表のとおりです。下表に記載のない科目は、次学期以降に履修登録してください。

必修科目の再履修は、各自で履修登録が必要です。留学や休学等で履修できなかった場合においても、以下の表を確認して各自で履修登録を行ってください。

なお、研究科目（ゼミナール）の再履修は教務課が事前に履修登録を行いますので、CUC PORTALで「学生時間割表」を確認して指定の授業に参加してください。研究科目の履修に不明点がある場合は、履修登録期間終了までに必ず教務課に問い合わせてください。

単位未修得科目	2025 年度 開講科目名称	教員名	曜日	時限
研究入門 ※いずれかの曜日・時限を履修	研究基礎A(再履修)	枘岡 大輔	月	5
		枘岡 大輔	木	5
プロジェクト入門	プロジェクト入門(再履修)	※春学期のみ開講		
経営学入門	経営学入門(サービス創造)	※春学期のみ開講		
マーケティング入門	マーケティング入門	※春学期のみ開講		
アカウンティング入門	アカウンティング入門	※春学期のみ開講		
情報入門	情報入門(再履修) 2024 年度以前入学者用	赤木 茅	水	2

※「研究基礎A(再履修)」、「情報入門(再履修) 2024年度以前入学者用」は定員設定科目のため、一次履修登録期間(抽選)で申込をしてください。

その他科目は定員設定科目ではありませんので、一次履修登録期間(抽選)では申込はできません。二次履修登録期間(先着)または三次履修登録期間(修正)に、自身でCUC PORTALにて履修登録を行ってください。

【授業科目読替・新設・廃止等科目一覧】

2019年度～2024年度入学者カリキュラムにおける科目の読み替えや廃止の適用状況は以下の通りです。
※2026年度以降については、暫定の情報となります。今後変更となる可能性がありますので、注意してください。



読み替え・廃止の確認方法

例		→	説明
適用年度	状況		
2025	読み替え		
2028	廃止	→	2025年度から読み替えが適用されます。 2028年度から廃止となります。開講は2027年度までとなります。

<サービス創造学部>

区 分			配当科目名称	適用年度	状況	読み替え後の科目名称	他学部等開講
C U C 基 盤 教 育 科 目 群	共通教養科目	人 文 科 学	選択 アジアの歴史	2028	廃止		
			選択 アメリカの文学と文化	2025	読み替え	表象文化論	
			選択 イギリスの文学と文化	2028	廃止		
			選択 イスラーム・アラブ文化論	2025	廃止		
			選択 演劇	2025	廃止		
			選択 音楽史	2028	廃止		
			選択 カウンセリング心理学	2025	廃止		
			選択 教育学	2025	読み替え	教育学入門	
			選択 近代日本文学	2025	廃止		
			選択 実学への招待	2025	廃止		
			選択 言語学	2025	廃止		
			選択 現代中国の思想	2028	廃止		
			選択 古典日本文学	2025	廃止		
			選択 社会思想史	2025	読み替え	社会思想史入門	
			選択 宗教学	2028	廃止		
			選択 心理学入門	-	変更なし		
			選択 性格心理学	2025	読み替え	応用心理学入門	
			選択 世界の文学	2025	読み替え	文学研究入門	
			選択 哲学	2025	読み替え	哲学入門	
			選択 日本史	2028	廃止		
			選択 日本の文化	2025	廃止		
			選択 東アジア文化論	2028	廃止		
			選択 美術史	2026	読み替え	芸術理論研究入門	
		選択 Film Studies	2028	廃止			
		選択 ヨーロッパの歴史	2025	読み替え	社会史入門		
		選択 倫理学	2025	読み替え	倫理学入門		
		選択 歴史学入門	-	変更なし			
		選択 論理学	2028	廃止			
		選択 海外短期文化研修I	-	変更なし			
		選択 海外短期文化研修II	-	変更なし			
		選択 海外長期文化研修	-	変更なし			
	社会科学	選択 観光文化論	2025	廃止			
		選択 グローバル・アジア論	2028	廃止			
		選択 Global Studies	2027	廃止			
		選択 経済と社会	2026	読み替え	経済学入門		
		選択 現代社会と宗教	2026	廃止			
		選択 日本国憲法	-	変更なし			
		選択 国際関係論	2028	廃止			
		選択 ジェンダー論	2028	廃止			
		選択 質的調査法	2028	廃止			
		選択 社会学	2025	読み替え	社会学入門		
		選択 社会調査法	2025	廃止			
		選択 社会ネットワーク論	-	変更なし			
		選択 商業と倫理	2025	読み替え	ビジネス倫理		
		選択 生活環境論	2025	読み替え	SDGs論		
選択 政治学入門		-	変更なし				
選択 世界の紛争と平和		2025	廃止				
選択 地理学と社会		2025	読み替え	人文地理学入門			
選択 日本現代社会論		2028	廃止				
選択 日本政治史		2028	廃止				
選択 福祉論		2025	廃止				
選択 文化人類学		2025	廃止				
選択 法学		2025	読み替え	法学入門（公法）			
選択 民俗学	2025	廃止					
自然科学	選択 宇宙科学	2025	読み替え	宇宙科学入門			
	選択 エネルギー論	-	変更なし				
	選択 化学	2025	読み替え	化学と社会			
	選択 科学技術史	2025	読み替え	テクノロジー論			
	選択 数と計算	2025	廃止				
	選択 環境と倫理	2027	読み替え	環境倫理			
	選択 健康科学	-	変更なし				
	選択 コーチング論	-	変更なし				
選択 自然科学入門	2028	廃止					

区 分			配当科目名称	適用年度	状況	読み替え後の科目名称	他学部等開講
C U C 基盤教育科目群	共通教養科目	自然科学	選択 情報と倫理	2025	読み替え	情報倫理	
			選択 数学	2025	読み替え	情報化社会のための数学入門	
			選択 生物学入門	-	変更なし		
			選択 生物と機能	2028	廃止		
			選択 生命と倫理	2025	読み替え	生命倫理	
			選択 地球科学	2025	読み替え	地学入門	
			選択 地球環境論	2025	廃止		
			選択 統計学入門	2028	廃止		
			選択 物理学	2026	読み替え	物理学と社会	
			選択 スポーツ科学	2025	廃止		
			選択 自然地理	2025	廃止		
	外国語科目	英語	選択 英語(A)I	-	変更なし		
			選択 英語(A)II	-	変更なし		
			選択 英語(B)I	-	変更なし		
			選択 英語(B)II	-	変更なし		
			選択 英語(C)I	-	変更なし		
			選択 英語(C)II	-	変更なし		
			選択 基礎英語I	2025	読み替え	英語コミュニケーション基礎B	
			選択 基礎英語II	2028	廃止		
			選択 スポーツ英語	2028	廃止		
			選択 中級英語I	2028	廃止		
			選択 中級英語II	2025	読み替え	国際語としての英語	
			選択 中級英語III	2028	廃止		
			選択 ビジネス英語I	2028	廃止		
			選択 ビジネス英語II	2028	廃止		
			選択 ビジネス英語III	2028	廃止		
			選択 プレゼンテーション英語	2027	廃止		
		中国語	選択 中国語(A)I	-	変更なし		
			選択 中国語(A)II	-	変更なし		
			選択 中国語(B)I	-	変更なし		
			選択 中国語(B)II	-	変更なし		
			選択 中国語(C)I	-	変更なし		
			選択 中国語(C)II	-	変更なし		
			選択 基礎中国語会話I	2025	廃止		
			選択 基礎中国語会話II	2025	廃止		
			選択 基礎中国語文法I	2028	廃止		
			選択 基礎中国語文法II	2028	廃止		
			選択 中級中国語I	2028	廃止		
			選択 中級中国語II	2028	廃止		
			選択 上級中国語I	2028	廃止		
			選択 上級中国語II	2028	廃止		
		ドイツ語	選択 ドイツ語(A)I	2025	廃止		
			選択 ドイツ語(A)II	2025	廃止		
			選択 ドイツ語(B)I	2025	廃止		
			選択 ドイツ語(B)II	2025	廃止		
			選択 ドイツ語(C)I	2025	廃止		
			選択 ドイツ語(C)II	2025	廃止		
			選択 ドイツ語I	2028	廃止		
			選択 ドイツ語II	2028	廃止		
		フランス語	選択 フランス語(A)I	2025	廃止		
			選択 フランス語(A)II	-	変更なし		
			選択 フランス語(B)I	2025	廃止		
			選択 フランス語(B)II	-	変更なし		
			選択 フランス語(C)I	2025	廃止		
			選択 フランス語(C)II	-	変更なし		
			選択 フランス語I	2028	廃止		
			選択 フランス語II	2028	廃止		
		スペイン語	選択 フランス語III	2028	廃止		
			選択 フランス語IV	2028	廃止		
			選択 スペイン語I	2028	廃止		
			選択 スペイン語II	2028	廃止		
		韓国語	選択 スペイン語III	2028	廃止		
			選択 スペイン語IV	2028	廃止		
			選択 韓国語I	2025	読み替え	韓国語コミュニケーション入門	
			選択 韓国語II	2025	読み替え	韓国語コミュニケーション基礎	
	情報科目		選択 韓国語III	2025	読み替え	異文化コミュニケーション(韓国語)	
			選択 韓国語IV	2028	廃止		
			必修 情報入門	-	変更なし		
			選択 情報実践	-	変更なし		
			選択 ICT基礎	2025	読み替え	情報科学概論	
	簿記会計科目		選択 Web基礎	2026	廃止		
			選択 プログラミング基礎	2025	読み替え	プログラミング入門	
			選択 会計学への扉	2025	廃止		
			選択 簿記特講	-	変更なし		
			選択 税理実務研究I	2025	読み替え	税務実務入門I	

区 分			配当科目名称		適用年度	状況	読み替え後の科目名称	他学部等開講
C U C 基 盤 教 育 科 目 群	簿記会計科目	選択	税理実務研究II	2025	読み替え	税務実務入門II		
		選択	経理実務入門	2025	読み替え	経理実務入門I		
		選択	税務実務入門	2025	読み替え	経理実務入門Ⅱ		
	体育科目	選択	基礎体育学実習	-	変更なし			
		選択	体育学実習I	2025	読み替え	健康・スポーツ演習 ※各種目		
	キャリア科目	選択	キャリアデザイン	2025	読み替え	キャリア入門		
		選択	雇用と労働の法律	2027	廃止			
		選択	企業研究	2026	廃止			
		選択	職業・業界研究	2027	廃止			
		選択	ビジネス探究	2026	廃止			
		選択	ホスピタリティ実践	2028	廃止			
		選択	マナー・ディスカッション	2028	廃止			
		選択	インターンシップ	2026	読み替え	インターンシップ概論		
		選択	就業力実践	-	変更なし	就業力実践		
	日本語関連科目	選択	文章表現	2028	廃止			
		選択	日本語聴解I	-	変更なし			
		選択	日本語聴解II	-	変更なし			
		選択	日本語聴解III	-	変更なし			
		選択	日本語読解I	-	変更なし			
		選択	日本語読解II	-	変更なし			
	情報科目	選択	特別講義(データサイエンスI)	2027	読み替え	データサイエンスプロジェクトI		
		選択	特別講義(データサイエンスII)	2027	読み替え	データサイエンスプロジェクトII		
		共通教養科目	社会科学	選択	特別講義(芸術と商業文化)	2025	読み替え	地域共創デザイン論
	サ ー ビ ス 企 業 科 目 群	セミナー科目	選択必修	サービス企業セミナーⅠB	2026	読み替え	サービス企業セミナー	
選択必修			企業実践知応用Ⅰ	2027	廃止			
選択必修			企業実践知応用2	2027	廃止			
選択			サービス企業セミナーⅠA	2026	読み替え	業界セミナーⅠ		
選択			サービス企業セミナーⅠC	2027	廃止			
選択			サービス創造実践ⅠA	2027	廃止			
選択			サービス創造実践ⅠB	2027	廃止			
選択			サービス創造実践ⅠC	2027	廃止			
選択			サービス創造実践ⅠD	2027	廃止			
選択			サービス創造実践3A	2025	読み替え	サービス創造実践Ⅰ(特命教授と学ぶエンタメ講座)		
選択			サービス創造実践3B	2027	廃止			
選択			サービス創造実践4A	2026	読み替え	サービス創造実践2(企業に学ぶマーケティング)		
実践科目		必修	プロジェクト入門	2025	読み替え	サービス創造入門		
		選択	調査法	-	変更なし			
		選択	ビジネスパーソンシップ論	-	変更なし			
		選択	メディアコミュニケーションズⅠ	2025	読み替え	メディアコミュニケーションズ		
		選択	メディアコミュニケーションズ2	2027	廃止			
		選択	インタビュー法	2026	読み替え	質的調査法	総合政策学部	
		選択	サービス体験デザイン論	-	変更なし			
		選択	Service Communication	2026	読み替え	ビジネス・コミュニケーション論	商経学部	
		選択	American Pop Culture	2027	廃止			
		選択	Effective Questioning Skills in Service	2026	読み替え	Emotional Intelligence in Service		
		選択	Positive Self Presence in Service	-	変更なし			
		選択	英語と日本語でクラウドファンディング	2027	廃止			
		選択	ビジュアルコミュニケーションデザイン論	-	変更なし			
		選択	プロデュース論	-	変更なし			
		選択	ビジネスリテラシー	2027	廃止			
		選択	プロジェクトマネジメント	-	変更なし			
		選択	プロジェクト実践2A	2028	廃止			
		選択	プロジェクト実践2B	2028	廃止			
		選択	プロジェクト実践2C	2026	読み替え	プロジェクト実践2A		
		選択	プロジェクト実践2D	2026	読み替え	プロジェクト実践2B		
		選択	プロジェクト実践2E	2026	読み替え	プロジェクト実践2C		
		選択	プロジェクト実践2F	2026	読み替え	プロジェクト実践2D		
		選択	プロジェクト実践3A	-	変更なし			
		選択	プロジェクト実践3B	-	変更なし			
		選択	プロジェクト実践3C	2028	廃止			
専 門 科 目 群	サ ー ビ ス 創 造 科 目	入門	必修	サービス創造入門	2024	廃止		
			選択	サービス創造入門2	2025	読み替え	サービス産業論	
		基幹	選択必修	サービスマネジメント論	未定	廃止		
			選択必修	サービスマーケティング論	2026	読み替え	サービスマーケティング論(サービス創造)	
			選択	サービス人的資源管理論	-	変更なし		
		展開	選択	サービス創造ケースディスカッション	2026	廃止		
			選択	フィットネスサービス論	-	変更なし		
			選択	旅行レジャーサービス論	2026	読み替え	観光サービス論Ⅱ	
			選択	ブライダルサービス論	-	変更なし		
			選択	スポーツ・エンターテインメントサービス論	2026	読み替え	業界セミナー2	
			選択	観光政策サービス論	2026	読み替え	観光サービス論Ⅰ	
			選択	交通宿泊サービス論	2026	読み替え	業界セミナー3	
			選択	健康サービス論	-	変更なし		
			選択	小売・流通サービス論	-	変更なし		
			選択	外食サービス論	2026	廃止		
			選択	空間サービス論	2027	廃止		

区 分				配当科目名称	適用年度	状況	読み替え後の科目名称	他学部等開講
専 門 科 目 群	サービス創造科目	展開	選択	物流サービス論	-	変更なし		
			選択	ファッションサービス論	2027	廃止		
			選択	情報サービス論	-	変更なし		
			選択	金融サービス論	2028	廃止		
			選択	プロフェッショナル・アカウンティング サービス論	2026	読み替え	会計プロフェッション論	商経学部
	アカデミック コモン科目	入門	必修	経営学入門	2025	読み替え	経営学入門（サービス創造）	
			必修	マーケティング入門	-	変更なし		
			必修	アカウンティング入門	-	変更なし		
			選択	経済学入門	2026	読み替え	マクロ経済学基礎	商経学部
		基幹	選択	経営組織論	2026	読み替え	経営組織論（サービス創造）	
			選択	経営管理論	2026	読み替え	経営管理論（サービス創造）	
			選択	簿記入門	2028	廃止		
			選択	企業論	-	変更なし		
			選択	消費者行動論	2026	読み替え	消費者行動論（サービス創造）	
			選択	経営戦略論	2026	読み替え	経営戦略論（サービス創造）	
			選択	経営情報論	-	変更なし		
			選択	経営革新論	-	変更なし		
			選択	経営学理論の応用	-	変更なし		
			選択	経営哲学	-	変更なし		
			選択	中小企業論	2028	廃止		
			選択	ベンチャービジネス論	-	変更なし		
			選択	経営学ケースディスカッション	2026	読み替え	経営学ケースディスカッション(商経)	商経学部
			選択	流通論	-	変更なし		
			選択	ロジスティクス論	-	変更なし		
			選択	マーケティング戦略論Ⅰ	-	変更なし		
			選択	マーケティング戦略論2	-	変更なし		
			選択	マーケティング戦略論3	-	変更なし		
			選択	広告論	-	変更なし		
			選択	マーケティングケースディスカッションⅠ	-	変更なし		
			選択	マーケティングケースディスカッション2	-	変更なし		
			選択	マーケティングコミュニケーション論	-	変更なし		
			選択	マーケティングリサーチ	-	変更なし		
			選択	ミクロ経済学	-	変更なし		
			選択	行動経済学	2028	廃止		
			選択	企業会計制度	2026	読み替え	会計制度論	商経学部
			選択	企業財務論	2026	読み替え	経営分析Ⅱ	商経学部
			選択	財務分析	2026	読み替え	経営分析Ⅰ	商経学部
			選択	管理会計論	2026	読み替え	企業価値評価Ⅰ	商経学部
			選択	企業価値評価	2026	読み替え	企業価値評価Ⅱ	商経学部
			選択	内部監査論	2026	読み替え	内部監査論Ⅰ	商経学部
			選択	内部統制評価	2026	読み替え	内部監査論Ⅱ	商経学部
			選択	情報システム	-	変更なし		
			選択	情報処理	2025	読み替え	ビジネスデータ処理	
			選択	プログラミングⅠ	2027	読み替え	プログラミングⅠ	商経学部
			選択	プログラミング2	2027	読み替え	データサイエンスのためのプログラミングⅠ	基盤教育機構
			選択	プログラミング3	2026	読み替え	データサイエンスのためのプログラミングⅡ	基盤教育機構
			選択	サービスとデータマイニング	-	変更なし		
			選択	サービスと情報通信技術Ⅰ	-	変更なし		
			選択	サービスと情報通信技術2	2026	読み替え	サービスと情報通信技術	
			選択	現代ビジネス論Ⅰ	2028	廃止		
			選択	現代ビジネス論2	2026	読み替え	デジタルイノベーション	
			選択	現代ビジネス論3	2026	読み替え	サービスとデータ分析	
研究科目群			必修	研究入門	2025	読み替え	研究基礎A	基盤教育機構
			必修	研究2	2026	読み替え	学部基礎ゼミⅡ	
			必修	研究3A	2027	読み替え	研究ゼミⅠ	
			必修	研究3B	2027	読み替え	研究ゼミⅡ	
			必修	研究4A	2028	読み替え	研究ゼミⅢ	
			必修	研究4B	2028	読み替え	研究ゼミⅣ	
			必修	卒業研究	未定	廃止		
サービス 企業科 目群	実践科目		選択	特別講義（現代サービス論Ⅰ）	2026	読み替え	現代サービス論Ⅰ	
専 門 科 目 群	サービス 創造科目	展開	選択	特別講義（サービスと生活）	2026	読み替え	現代サービス論2	
	アカデミック コモン科 目	基幹	選択	特別講義（デジタル・マーケティング）	2026	読み替え	現代サービス論3	
			選択	特別講義（サービスとデータ）	2026	読み替え	現代サービス論4	
			選択	特別講義（起業論）	2026	読み替え	起業学	

手順 4：気になる科目のシラバスを確認し、授業内容を把握する

開講されている科目が、実際にどのような授業を行うのか、その情報を提供しているものが「シラバス（講義概要）」です。シラバスには、各授業科目の講義内容や到達目標、事前事後学修等の指示、授業計画、評価方法、履修上の注意、教科書などが掲載されています。

時間割作成の際だけでなく、履修登録期間、授業期間など、常にシラバスの内容を確認するよう心がけてください。

シラバスは、CUC PORTAL で閲覧可能です。

シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

Q A よくある問い合わせ

Q

シラバスを検索しても科目の情報が出てこないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。

A

まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがないか確認してください。正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q

シラバスに記載されている「事前に履修することが望ましい科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。

A

「事前に履修することが望ましい科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得していた方がより科目内容を理解できるということです。

Q

学年が 1 年となっている科目は 1 年次しか履修できないか。

A

学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は[授業科目配当表](#)を参照してください。

手順 5：自分の時間割を決める

手順 1～4 を踏まえて、自分の時間割を決めてください。

時間割決定後、履修登録できない科目を時間割に含めていないか確認してください。

⑤履修登録を行う

以下の手順に沿って、履修登録を行ってください。履修登録後は必ず CUC PORTAL「学生時間割表」を見直して、正しく登録・修正が行われているかを確認してください。確認を怠り、履修登録をしていない科目を受講しても、その科目の成績は無効となります。履修登録期間外の対応は一切できませんので、十分注意してください。

履修登録は、CUC PORTAL にて行います。

各手順の方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）



【履修登録日程】

[履修登録日程表](#)を参照ください。

【履修登録を行う手順】

手順	内容	CUC PORTAL 活用マニュアル 項目
1	事前履修科目（必修科目）の確認	3. 履修 事前履修科目を確認する／学生時間割表
2	一次履修登録期間（抽選）にて、抽選科目申込を行う	3. 履修 抽選科目の希望申請登録をする／抽選希望登録
3	二次履修登録期間（先着）にて、履修登録を行う	3. 履修 履修登録、履修修正、履修取消をする／履修登録
4	三次履修登録期間（修正）にて、履修修正を行う	
5	履修取消期間にて、履修取消を行う	

【履修登録時における注意点】

- ・履修登録前に、授業時間割表に抽選申込したい科目が記載されているか確認してください。
- ・履修登録の際は、学期の履修上限単位数を越えないようにしてください。全ての申込が無効になる場合があります。

【授業不開講】

必修及び選択必修等の卒業に関わる授業科目を除き、二次履修登録期間（先着）終了時点において履修者数が3名以下の場合、授業を開講しない場合があります。対象科目等は、告示にてお知らせします。

授業不開講により、当該の曜日・時限の履修登録が取消となった場合は、三次履修登録期間（修正）期間中であれば、追加で他の授業を履修登録することができます。

Q A よくある問い合わせ

Q

抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。

A

上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。

履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修科目の単位数も含めますので注意してください。

間違って申し込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q

抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。

A

落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていません）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q

抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。

A

抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

授業

学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）、授業準備について確認の上、授業を受講してください。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

【2学期制（セメスター制）】

本学は春学期（4月1日～9月30日）と秋学期（10月1日～3月31日）の2学期制（セメスター制）です。

授業は、原則として週1回（一部、1日2回または週2回の科目もあり）開講され、各学期13週にわたって開講されます。

この学期完結の授業形態が2学期制（セメスター制）です。それぞれの学期（セメスター）で授業期間などが学事カレンダーに定められていますので、学事カレンダーをよく確認してください。

Q A よくある問い合わせ

Q ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。

A 休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

【授業時間】

授業は1時限あたり105分で行われ、授業時間は、下表のとおりです。

時限	時間
1 時限	9 : 00 ~ 10 : 45
2 時限	10 : 55 ~ 12 : 40
昼休み	12 : 40 ~ 13 : 30
3 時限	13 : 30 ~ 15 : 15
4 時限	15 : 25 ~ 17 : 10
5 時限	17 : 20 ~ 19 : 05

学事カレンダー 学部（国際教養学部を除く）

2025年度春学期

4月								7月							
日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	入学式			1	2	3	4	5	
		4/1～4/7 一次履修登録期間													
		新入生オリエンテーション													
6	7	8	9	10	11	12	4月	6	7	8	9	10	11	12	
4/7～新入生オリエンテーション 4/8～抽選発表 4/8～4/10二次履修登録期間					①	⑫		⑫	⑫	⑫	⑫	⑬ 補講日			
13	14	15	16	17	18	19		13	14	15	16	17	18	19	
①	①	①	①	①	①	②		⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	補講期間	
20	21	22	23	24	25	26		20	21 補講期間 海の日	22 補講期間	23 補講期間	24 補講期間	25 補講期間	26	
27	28	29	30				5月	27	28	29	30	31			
③	③ 昭和の日	4/29 昭和の日 振替休日													
				1	2	3		8月						1	2
4	5	6	7	8	9	10			3	4	5	6	7	8	9
みどりの日	こどもの日	振替休日	③	③	③	④			10	11	12	13	14	15	16
11	12	13	14	15	16	17	17		18	19	20	21	22	23	
④	④	④	④	④	④	⑤ 補講日	24/31		25	26	27	28	29	30	
18	19	20	21	22	23	24	6月	17	18	19	20	21	22	23	
体育祭	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥									
25	26	27	28	29	30	31									
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦									
1	2	3	4	5	6	7	9月		1	2	3	4	5	6	
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑧ 補講日		7	8 卒業者発表	9	10	11	12	13	
8	9	10	11	12	13	14		14	15 敬老の日	16	17	18	19 学位記授与式	20	
15	16	17	18	19	20	21		21	22	23 秋分の日	24	25	26	27	
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑩		28	29	30					
22	23	24	25	26	27	28	7月								
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑪									
29	30							28	29	30					
⑪															

2025年度秋学期

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
10月				1	2	3	4	11月					1	2	3
				一次履修登録期間 10/1～10/3											
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
	10/6～抽選発表 10/6～10/8 二次履修登録期間					①	①		⑪	⑪	⑪	⑪	⑫	⑫	
	12	13 ① スポーツの日	14 ①	15 ①	16 ①	17 ②	18 ②		11	12 成人の日	13 ②	14 ②	15 ②	16 準備日11/24分の振替休日	17 大学入学共通テスト
	19	20 ②	21 ②	22 ②	23 ②	24 ③	25 ③		18 大学入学共通テスト	19 ⑫	20 ⑬	21 ⑬	22 ⑬	23 ⑬	24 ⑬ 補講日
	26 全学保護者会	27 ③	28 ③	29 ③	30 ③	31 ④			25	26 ⑬	27 補講期間	28 補講期間	29 補講期間	30 補講期間	31 補講期間
11月							1 ④ 補講日	12月	1	2 補講期間	3	4	5	6	7
	2 瑞穂祭	3 文化の日 瑞穂祭	4 瑞穂祭 片付け日 10/13分の振替休日	5 ④	6 ④	7 ⑤	8 ⑤		8	9	10	11 建国記念日	12	13	14
	9	10 ④	11 ④	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥		15	16	17	18	19	20	21
	16	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦		22	23 天皇誕生日	24	25	26	27	28
	23/30 勤労感謝の日	24 振替休日⑥	25 ⑥	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑧ 補講日								
12月		1 ⑦	2 ⑦	3 ⑧	4 ⑧	5 ⑨	6 ⑨	12月	1	2	3	4	5	6	7
	7	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑨	11 ⑨	12 ⑩	13 ⑩		8	9 卒業生発表	10	11	12	13	14
	14	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑩	18 ⑩	19 ⑪	20 ⑪ 補講日		15	16	17	18	19	20 学位記授与式 春分の日	21
	21	22 ⑩	23 ⑩	24	25	26	27		22	23	24	25	26	27	28
	28	29	30	31					29	30	31				

⑦授業の準備をする

教科書の購入

授業で利用する教科書は、自分自身で購入する必要があります。

教科書は「千葉商科大学学生協 教科書販売サイト」で購入できます。ただし、Web サイトで情報がない教科書もありますので、その際は一般の書店かインターネットの書籍販売サイト等で購入してください。

履修登録した科目の教科書は、シラバスから確認してください。

🔍 シラバスの閲覧方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「3. 履修 シラバス内容を確認する／シラバス照会」

▶ 千葉商科大学学生協 教科書販売サイト

<https://ec.univ.coop/shop/c/c8C>

- ・支払い：クレジット払いまたはコンビニ支払い
- ・受け渡し方法：店頭受け取りまたは配送（有料）



【問い合わせ先】千葉商科大学生活協同組合（生協） 購買書籍部 047-372-0195

Q A よくある問い合わせ

Q 科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。

A シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

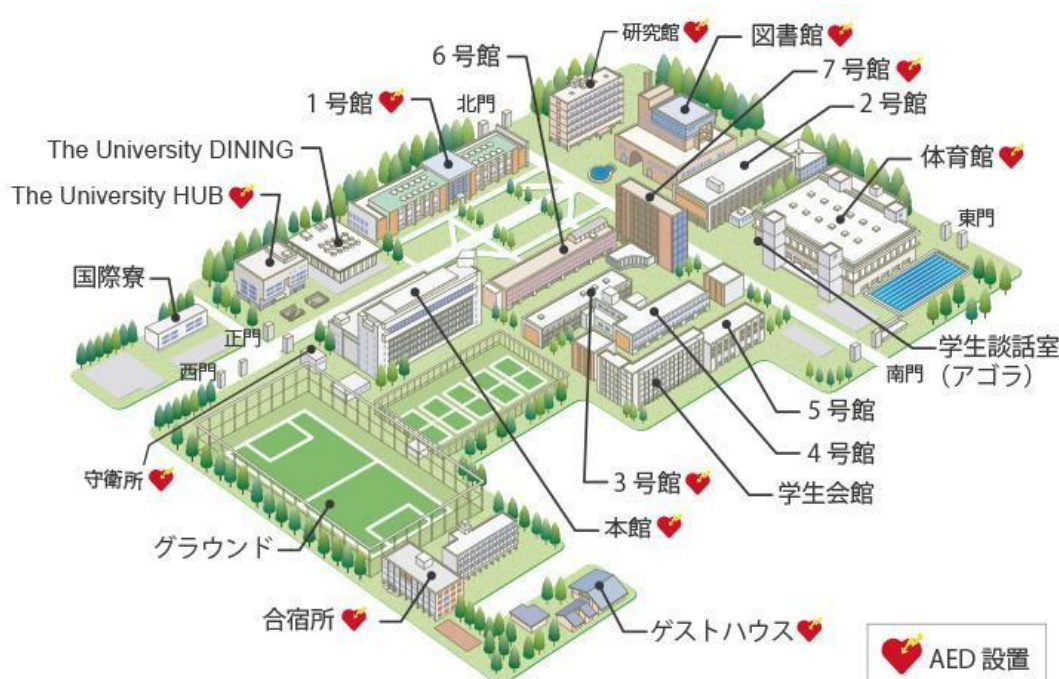
教室の確認

教室の場所はCUC PORTAL「学生時間割表」で確認することができます。

月 4
☐ 研究I/研究IB
教員名
645教室

教室は、授業期間中、履修者数やその他の事情で変更になる場合があります。特に、学期のはじめは注意してください。教室の変更は、CUC PORTAL で確認できます。

遠隔・リアルタイム型の授業についても、リアルタイム受講用教室を表示しています。大学内で遠隔・リアルタイム授業を受講する場合は指定の教室で受講してください。



教室番号は 1 文字目の「号館」と 2 文字目の「階数」の組合せになっています。

(例) 教室名	説明
<u>1</u> <u>2</u> 0 3 教室	<u>1 号館</u> <u>2 階</u> にあります
<u>2</u> <u>3</u> 1 教室	<u>2 号館</u> <u>3 階</u> にあります
<u>7</u> <u>0</u> 2 教室	<u>7 号館</u> <u>地下</u> にあります
<u>H</u> <u>3</u> 1 教室	<u>The University HUB</u> <u>3 階</u> にあります

以下の教室は、教室名から号館・階数が分かりにくい教室です。ご注意ください。

教室名	場所
化学実験室	2 号館 3 階
商品学実験室	
324PC 室（旧第 6 コンピュータ実習室）	3 号館 2 階
325PC 室（旧第 7 コンピュータ実習室）	
326PC 室（旧第 8 コンピュータ実習室）	
327PC 室（旧第 9 コンピュータ実習室）	
H31 教室	The University HUB 3 階
H32 教室	
H33 教室	
指定場所 ※「基礎体育学実習」「体育学実習」などの履修時に表示されます	※告示や掲示にて詳細を確認してください

⑧授業を受講する

以下について確認の上、授業を受講してください。

- ・ 出席登録
- ・ 遠隔授業の受講
- ・ 休講・補講
- ・ 課題の提出
- ・ 教員への連絡・質問
- ・ 欠席の扱い
- ・ 不正行為
- ・ 授業の受講以外の対応

CUC PORTAL の作業手順や方法は、CUC PORTAL 活用マニュアルを参照してください。

<https://portal.cuc.ac.jp/>

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）



出席登録

大学では、授業の出席確認は授業担当教員に一任されているため、出席登録の有無や方法は授業により異なります。以下のパターンを参照の上、各授業にて出席登録の有無・方法を確認してください。

なお、必修科目や出席を調査する科目の場合、その授業の欠席回数によって、保証人に対し、出欠状況を知らせる通知が出され、注意喚起が行われることがあります。授業内容を理解するためには出席することが大切ですので、授業には毎回出席するようにしてください。

パターン	出席確認方法
出席登録を行うパターン	CUC PORTAL の「出席登録」の利用や出席カード等配布物の回収等によって出席を確認します。 CUC PORTAL「出席登録」を利用した出席確認の場合、スマートフォンまたはパソコンが必要になりますので、担当教員の指示に従ってください。
出席登録を行わないパターン	出席を確認しない場合や、課題やレポートの提出をもって出席とみなす場合などがあります。詳細な出席確認方法については担当教員の指示に従ってください。

遠隔授業の受講

本学では面接形式で授業を行うことを基本としていますが、一部の科目については、遠隔形式で行われます。

遠隔形式とは、各自で PC やスマートフォンを利用して授業を受ける形式です。自宅や学内で受講することができます。

遠隔形式は「リアルタイム型」と「オンデマンド型」に区分されます。以下の通り、受講方法が異なりますので、確認したうえで授業を受講してください。

? 遠隔形式の授業の確認方法

遠隔形式の授業は、CUC PORTAL「学生時間割表」で次のように科目名の後ろに授業形式が記載されます。

	月曜日	火曜日
2		健康科学 【リアルタイム】 藤野 和樹 1103教室 9101069 2単位

オンデ

授業科目	教員氏名	
1106004 商学入門 【オンデマンド】	越川 靖子	遠隔授業

遠隔形式の種類	受講方法	曜日・時限の指定	大学内で受講する場合の受講場所指定
リアルタイム型	Teams などのオンライン会議機能を利用して、時間割表の授業時間に受講する授業です。授業によっては、Zoom を利用する授業もあります。	指定あり	指定あり 「学生時間割表」に教室名が表示されます。 学内で受講する場合は、必ずヘッドセット（マイク付きイヤホン含む）を利用してください。
オンデマンド型	各自で動画教材や音声教材を視聴して受講する授業です。	指定なし	指定なし 曜日・時限の指定がないため、受講場所は指定していません。

「リアルタイム型」の受講方法	
初回授業の参加方法	・ CUC PORTAL の「クラスプロファイル」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。 ▼「クラスプロファイル」の確認方法▼  
「出席登録」を利用した出席確認	面接形式の授業と同様、CUC PORTAL「出席登録」の機能を利用する場合があります。（利用有無は教員により異なります）
注意点	・ 学修に適した環境で受講してください。 ・ アルバイト中にスマートフォンで参加するなど不適切な環境で授業参加し、懲罰の対象となった事例があります。 ・ 都合により受講環境が準備できない場合、担当教員に相談してください。

「オンデマンド型」の受講方法	
初回授業の参加方法	・ CUC PORTAL の「クラスプロファイル」の「授業資料」より、授業日の 2 日前までを目安に指示がなされます。授業資料に記載された指示に従って準備をしてください。 ▼「クラスプロファイル」の確認方法▼  
「出席登録」を利用した出席確認	曜日・時限の指定がないため、「出席登録」を利用した出席確認は行いません。出席確認の代わりに、課題の提出状況などで受講状況が把握されます。
注意点	・ オンデマンドとは「いつでも好きな場所で」といった意味ですが、本学のオンデマンド授業は「いつでも」というわけではありません。 ・ 授業各回について、受講開始日（授業資料の公開日）と受講終了日（課題提出の締切日）が定められており、この期間内に受講する必要があります。 ・ 授業各回の受講期間は約 1 週間です。面接形式の授業と同様の進捗となります。 ・ 期間内であれば「いつでも好きな場所で」受講できる授業ですが、一方で、自分 1 人で学修するという意思をもって受講しなければなりません。事前に受講する時間や場所を定め、計画的に受講しましょう。

休講・補講

以下の場合、授業が休講になります。休講になった授業は、別日で補講が実施されます。

各パターンにおける休講・補講通知方法をご確認ください。

授業が休講になる場合	休講・補講通知方法
教員の都合により急遽授業が休講になった場合 休講等の掲示が配信されていないにもかかわらず、授業開始時刻から 30 分経過しても担当教員が教室に来ない等、授業が開始されない場合 ※この場合は教務課へご連絡ください	休講および補講について CUC PORTAL「掲示板」で掲示配信されます。
台風や暴風・豪雨等の自然災害等により、交通機関等に支障が出ると予想される場合	休講については、本学 Web サイトのトップページに「お知らせ」が出されますので、それを確認し、その指示に従ってください。 補講については、授業担当教員の判断により実施有無が決定されます。必ず授業担当教員に確認し、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q 補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。

A 補講の実施日時は、CUC PORTAL「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。
 補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は[学事カレンダー](#)を参照してください。

原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。

- ・月 1 回補講日として設定された土曜日
- ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限

補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。
 実施形式は「掲示板」で確認してください。

? 休講・補講の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）

「2. 掲示を確認する」

課題の提出

レポートなどの課題提出については担当教員の指示に従ってください。

提出した課題は、授業終了後、成績評価が終了するまで必ず保存しておいてください。

CUC PORTAL「課題提出」の「ウェブ提出」の場合、入力途中の内容を誤った操作によって紛失してしまうことがあります。課題作成の際は、まず Word など文章ファイルにて内容を作成し、その内容をブラウザへコピー＆ペーストする形で提出してください。

? CUC PORTAL「課題提出」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 課題を確認・提出する」

教員への連絡・質問

以下のような授業に関する連絡や質問は、担当教員に直接、CUC PORTAL「授業 Q&A 登録」で行ってください。別途、担当教員から「授業 Q&A 登録」以外の方法で連絡するよう指定があった場合は、その指示に従ってください。

Q A よくある問い合わせ

Q どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。

A 基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。
以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。

担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例

- ・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。
- ・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。
- ・ 課題の提出方法が分かりません。
- ・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。
- ・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。
- ・ 授業内容について質問したいことがあります。

? 「授業 Q&A 登録」の使用方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「4. 授業 教員へ質問をする／授業 Q&A 登録」

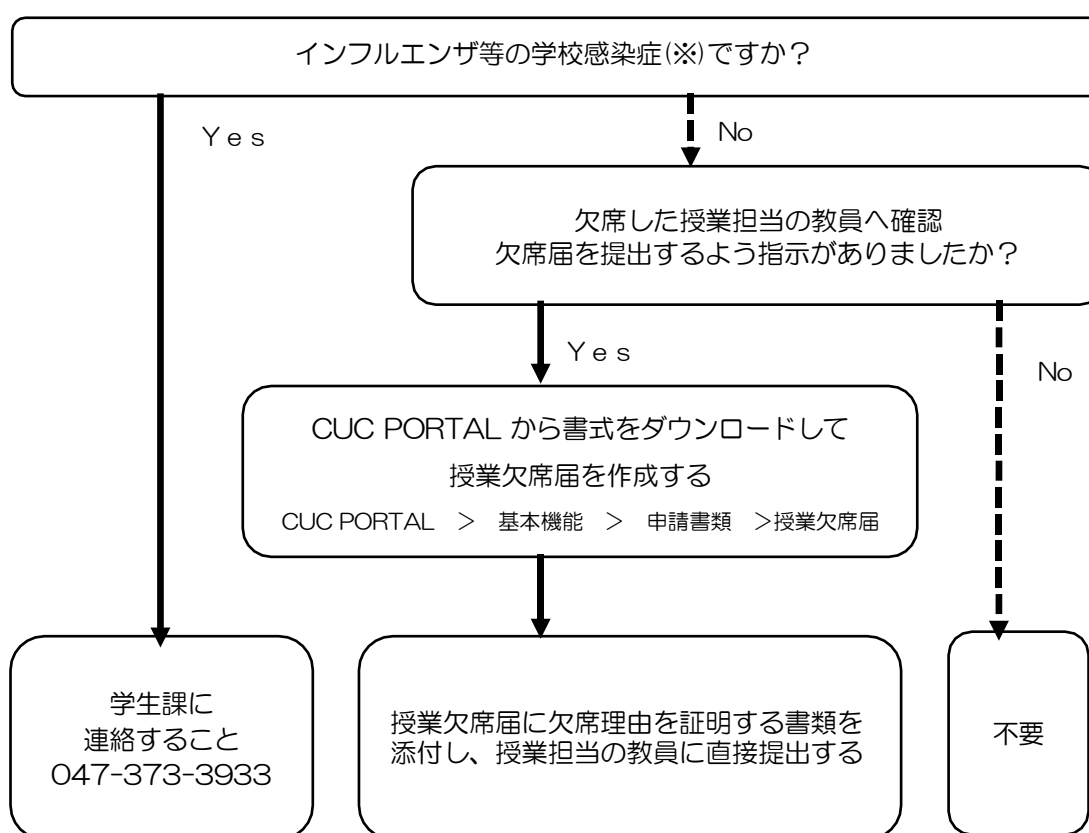
欠席の扱い

授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に直接報告し、担当教員の指示に従ってください。
担当教員から指示があった場合には、CUC PORTAL に「授業欠席届」がありますので、ダウンロード後、各自で作成し、授業担当教員に提出してください。詳細については、以下「授業欠席届の提出」フローを参照し、各自対応してください。

なお、学校保健安全法に定める感染症等により欠席する（した）場合は、治癒後に本学所定の「登校許可証明書（学校感染症）※」と「授業配慮願」を学生課に提出してください。

※「登校許可証明書」が取得できない場合は医療機関発行の「診断書（登校禁止期間・登校許可日が記載されたもの）」を提出してください。

◆授業欠席届の提出フロー



※学校感染症とは、学校において予防すべき感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳、麻疹、おたふくかぜ等)です。

詳細は、本学 Web サイト内の「感染症に罹患または罹患の疑いによる欠席」を参照。

- ・ 欠席を証明する書類や教員への連絡方法など不明な点があれば、教務課(047-373-9754)に相談してください。
- ・ 欠席期間が長期にわたり休学等を希望する場合は、学生課に連絡してください。

学生課の連絡先：電話 047-373-3933 / メール gakstf@cuc.ac.jp

不正行為

授業時の試験等において、千葉商科大学学生懲戒規程第5条に該当する行為を行った場合、不正行為とみなし、しかるべき手続きに則り懲戒処分とします。

レポートを執筆する際、出典を明記しないで引用するなどの行為も不正行為となります。絶対に行ってはいけません。

レポートの執筆方法や行ってはいけないことについては、1年次の必修科目で学修しますので、必ず留意しましょう。

授業の受講以外の対応

【授業評価アンケート】

本学では、学生の授業における満足度を高め、教育の質的向上を図るため、各学期末の授業時間中に、履修学生を対象とした授業評価アンケートを実施しています。

このアンケート調査は、その結果に基づき、授業の内容や方法の改善、学生の授業満足度の向上など、授業をより良くするためのものですので、調査への回答に協力してください。

【学修ポートフォリオ】

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Webを用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うためのWebシステムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

【オフィスアワー】

各学部にも所属する専任教員は、オフィスアワーを設けています。オフィスアワーとは、教員が授業を担当する時間以外に、学生の個人指導や相談にあたる時間のことです。

オフィスアワーでは、専任教員が授業の学修についての質問、学生生活全般、資格取得、就職活動等、様々な相談に応じますので、積極的にこの時間を活用してください。

なお、オフィスアワーの時間帯は、学期の初めにCUC PORTAL（履修関連 > オフィスアワー）でお知らせします。

成績

大学では単位制が採用されています。単位制とは、授業科目ごとに一定の基準により、単位数が決められており、その授業科目を履修し、授業に出席し、教員ごとに定めた評価方法により合格した場合、所定の単位が認定される制度です。

大学における学修の達成度は、修得された単位数をもとに判定されます。

卒業するためには、所定の単位数（124 単位以上）を修得する必要があります。

⑨成績公開日程・確認方法を知る

成績の公開時期

2025 年度秋学期の成績は以下日時に公開されます。

学期	成績公開日時
2025 年度秋学期	2026 年 2 月 17 日(火)10:00

※授業期間外（休暇期間中）に開講される集中授業を履修する場合、集中授業の成績は上記とは別の日時に成績公開される可能性があります。



成績の確認方法

CUC PORTAL > マニュアル > CUC PORTAL 活用マニュアル（学生向け）
「6. 成績を確認する／成績照会」

Q

A

よくある問い合わせ

Q 成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。

成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。

A

▶ 本学 Web サイト > [学生生活](#) > [学費・支援制度](#) > [授業料減免制度](#)
<https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html>



成績評価

科目ごとに決められた成績評価基準に基づき成績が評価されます。評価は点数に応じてS, A, B, C, Fの評語で表されます。また、一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA (Grade Point Average: 成績平均点数制) による成績・単位修得状況評価を行っています。GPA は、それぞれの評価に設定されたグレードポイント (GP) に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出されます。

GPAは、成績優秀者の選考、給費生の継続給費基準、早期卒業基準、卒業代表者選考等に使用されます。

判定	成績評価	点数	成績評価基準	グレードポイント
合格	S	90～100 点	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している	4.0
	A	80～89 点	授業科目の到達目標を高い水準で達成している	3.0
	B	70～79 点	授業科目の到達目標を達成している	2.0
	C	60～69 点	授業科目の到達目標を最低限度の水準で達成している	1.0
不合格	F	0～59 点	授業科目の到達目標を達成していない	0
単位認定	T	—	—	—

※認定 (T) には、資格による単位認定、他大学等での修得単位認定等があります。

《GPA の計算式》

$$\text{GPA} = \frac{(\text{取得単位} \times \text{グレードポイント}) \text{の総和}}{\text{総履修単位数}}$$

注：総履修単位数には、成績評価が「T」（認定）及び卒業要件外科目（教職課程科目、自由科目等）の単位数は含まれません。

◆ GPA の算出例

科目名	単位数	評価	単位数×グレードポイント
哲学	2	B	$2 \times 2 = 4$
憲法	2	F	$2 \times 0 = 0$
〇〇学概論	2	S	$2 \times 4 = 8$
△△総論	2	A	$2 \times 3 = 6$
××経済学	2	F	$2 \times 0 = 0$
英語	1	C	$1 \times 1 = 1$
合 計	11	—	19

$$\text{GPA} = \frac{19}{11} = 1.72 \quad \text{※小数点第3位を切り捨て}$$

⑩成績について教員に問い合わせる

成績問い合わせ制度

成績問い合わせとは、シラバスに記載されている成績評価方法を踏まえ、授業への取り組みや出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等について客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ教員に問い合わせができる制度です。安易に成績の変更を求める制度ではありません。

授業担当教員に成績評価の確認を依頼する場合は、以下の内容に従って、所定の期間内に手続を行ってください。

【成績問い合わせ期間】※期間外の申し出や電話及びメール等による問い合わせには一切応じません。

学期	成績問い合わせ期間
2025 年度秋学期	2025 年 2 月 17 日(火)10:00 ～ 2 月 18 日(水)17:00

【成績問い合わせ方法】

手順	対応内容																
1	CUC PORTAL「アンケート回答」を確認する CUC PORTAL > 基本機能 > 回答 > アンケート回答 																
2	アンケート「【全学部】2025 年度秋学期成績問い合わせ申請」に回答する 【アンケート回答項目】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答項目</th><th>入力すべき回答</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員氏名</td><td>(例) 千葉商太 ※フルネームで記載</td></tr> <tr> <td>授業コード</td><td>(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字</td></tr> <tr> <td>科目名</td><td>(例) 体育科目 (バドミントン)</td></tr> <tr> <td>曜日時限</td><td>(例) 月曜日 1 時限</td></tr> <tr> <td>現在の評価</td><td>成績照会に記載されている評価を選択</td></tr> <tr> <td>自己評価</td><td>シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択</td></tr> <tr> <td>自己評価に至った理由および問い合わせ事項</td><td>※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。</td></tr> </tbody> </table>	回答項目	入力すべき回答	教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載	授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字	科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)	曜日時限	(例) 月曜日 1 時限	現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択	自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択	自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。
回答項目	入力すべき回答																
教員氏名	(例) 千葉商太 ※フルネームで記載																
授業コード	(例) 9100000 ※学生時間割表に記載されている 7 桁の数字																
科目名	(例) 体育科目 (バドミントン)																
曜日時限	(例) 月曜日 1 時限																
現在の評価	成績照会に記載されている評価を選択																
自己評価	シラバスに記載されている評価方法を参考に自己評価し、選択																
自己評価に至った理由および問い合わせ事項	※シラバスに記載されている評価方法を参考に、自己評価に至った理由(授業の取り組み状況、提出課題の出来、試験の解答状況、点数等)について具体的に記入し、その上で問い合わせ内容を記載してください。																

手順	対応内容		
	【申請に不適当な悪い例・受け付けできない例】		
	No	悪い例・受け付けできない例	申請に不適当な理由
	1	友人より出席しましたし、テストも受けました。自分より出席していない友人が受かっているのに、自分が落ちた理由が分かりません。	他者と比較している。試験についての自己評価が具体的に記載されていない。
	2	積極的に受講しました。	具体的な取り組みが記載されていない。
	3	内定を得ていますが、このままでは卒業ができないため、どうか評価の見直しをお願いします。	成績評価に関する問い合わせではない。救済を求めている。
	4	単位取得のため、再度課題 を与えてください。	成績評価に関する問い合わせではない。救済を求めている。
	5	授業内の試験結果が知りたいです。	試験に対する自己評価が記載されていない。
	6	全授業に出席しました。課題は期日内に提出したのに評価がFの理由が知りたいです。	授業への取り組みや課題に対する自己評価が記載されていない。
3	CUC PORTAL「掲示板」で問い合わせ結果を確認する		
	【問い合わせ結果配信期間】2月27日(金)10:00～3月31日(火)23:59		

Q A よくある問い合わせ

Q 成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいのか。

A 教員には直接問い合わせないでください。
 成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。
 なお、成績問い合わせとは、シラバスに記載されている成績評価方法を踏まえ、授業への取り組みや出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等について客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ教員に問い合わせができる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

⑪証明書を発行する

成績証明書や卒業見込証明書等の各種証明書は、証明書発行サービスからオンライン申請し、コンビニのマルチコピー機を利用して受け取ることができます。

取得方法の詳細については、本学 Web サイトで確認してください。なお、証明書の種類によっては交付に要する日数がかかる場合がありますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

本学 Web サイト > 学生生活 > 証明書の発行

<https://www.cuc.ac.jp/campus/certificates/index.html>



発行可能な主な証明書は、以下の通りです。

証明書の種類	取得可能条件	2025 年度発行開始日
在学証明書	在学していること（休学者は除く）	春学期：4 月 7 日(月) 秋学期：10 月 7 日(火)
成績証明書	単位を修得していること	
卒業見込証明書	定められた単位数以上の単位を修得している <u>4 年生</u>	
健康診断証明書	当該年度に定期健康診断を受診し、発行条件を満たしている学生	5月19日（月）

Q A よくある問い合わせ

もっと詳しく知りたい人は、CUC PORTAL > 基本機能 > 証明書 > 証明書に関するQ&A を確認！

Q 各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。

A コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は 1 週間程度かかる場合があります。

Q 卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。

A 卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を 1 部贈呈します。2 部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。

Q 単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。

A 単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。
例) 2025 年度春学期に単位修得した科目・成績は、2025 年 10 月 7 日（火）以降に発行する成績証明書に記載されます。

Q 証明書をデータで受け取りたい。

A 提出先に直接 PDF ファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書（紙）を PDF ファイルに変換してください。

卒業

⑫卒業生発表日程を知る

卒業は、修業年限を満たし、かつ、卒業に必要な単位を修得した学期末で認定されます。

卒業生発表・学位記授与式日程

卒業生の発表および学位記授与式は、以下日程で行います。詳細は、CUC PORTAL 告示を確認してください。

なお、卒業生発表については、個人情報保護の観点から、電話での問い合わせは一切応じませんので、各自告示を確認してください。

対象	内容	日程等	CUC PORTAL 告示件名 ※告示番号未定
2025 年 3 月 卒業生	卒業生発表日時	2026 年 3 月 9 日(月)10:00	【全学部】告●号※_2025 年度 3 月卒業 確定者について
	学位記授与式	2026 年 3 月 20 日(金)	【全学部】告●号※_ (2025 年3月卒業 見込者対象) 3 月学部卒業確定者等発 表および 3 月学部学位記授与式の開催 について

授与される学位

各学部・学科を卒業し、授与される学位は以下の通りです。

学 部	学 科	学 位
商経学部 Faculty of Commerce and Economics	商学科 Department of Commerce	学士（商学） Bachelor of Commerce
	経済学科 Department of Economics	学士（経済学） Bachelor of Economics
	経営学科 Department of Business Administration	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
政策情報学部 Faculty of Policy Informatics	政策情報学科 Department of Policy Informatics	学士（政策情報学） Bachelor of Policy Informatics
サービス創造学部 Faculty of Service Innovation	サービス創造学科 Department of Service Innovation	学士（経営学） Bachelor of Business Administration
人間社会学部 Faculty of Humanities and Social Sciences	人間社会学科 Department of Humanities and Social Sciences	学士（人間社会学） Bachelor of Humanities and Social Sciences
国際教養学部 Faculty of Global Studies	国際教養学科 Department of Global Studies	学士（国際教養学） Bachelor of Global Studies

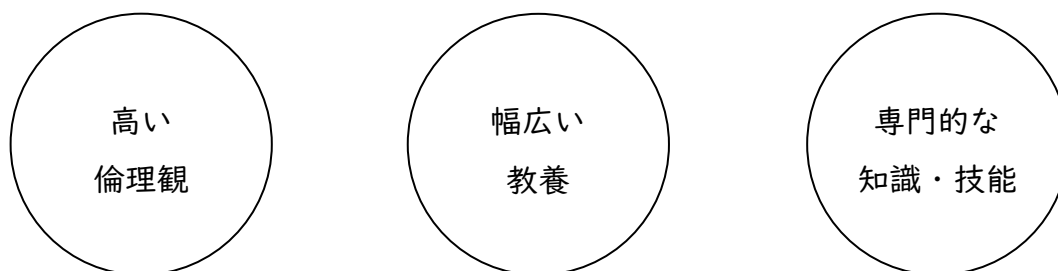
千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」

～カリキュラムマップを活用した体系的で計画的な学修に向けて～

本学では、ディプロマ・ポリシーに基づき、本学として育成する力である「高い倫理観」「幅広い教養」「専門的な知識・技能」を「CUC3つの力」として定めるとともに、「CUC3つの力」を構成する能力要素を「CUC6つの能力要素」として定め、カリキュラムを編成しています。

4年間の学修を通じて、「CUC3つの力」と「CUC6つの能力要素」を身につけ、社会の発展に貢献できる人材へと成長してください。

千葉商科大学で身につける「CUC3つの力」



【ディプロマ・ポリシーより】

<高い倫理観>

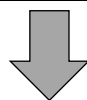
◆実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラル

<幅広い教養>

◆実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力

<専門的な知識・技能>

◆実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力



「CUC3つの力」は、以下の6つの能力要素（CUC6つの能力要素）からなります。

<CUC3つの力>	<CUC6つの能力要素>
高い倫理観	社会規範意識・誠実さ
	主体性・責任感
	チャレンジ精神・実践力
幅広い教養	相互理解・コミュニケーション力
	普遍的な知識・技能
専門的な知識・技能	専門的な知識・技能

カリキュラムマトリクスとカリキュラムマップ

本学では、学生のみなさんが体系的・計画的に学修を進めることができるように、「カリキュラムマトリクス」と「カリキュラムマップ」を作成しています。

カリキュラムマトリクス

カリキュラムマトリクスとは、学生のみなさんが履修する各科目と「CUC6つの能力要素」との対応関係を図示したものです。カリキュラムマトリクスにより、自身の身につけたい力・能力要素が、どの科目を履修・修得することで身につけることができるかを一目で把握することができます。また、各科目で身につけることができる能力要素については、シラバスでも確認することができます。

<カリキュラムマトリクス イメージ図>

授業科目名	学 問 分 野	学問分野 コード	レベル コード	ナンバ リング コード	専門的な知 識・技能	幅広い教養		高い倫理観			
					専門的な知 識・技能	普遍的な知 識・技能	相互理解・コミ ュニケーション 力	チャレンジ精 神・実践力	主体性・ 責任感	社会規範意 識・誠実さ	
科 目 区 分	〇〇概論				◎					○	
	△△入門					◎		○	○		
	科目名称						○		◎		
	科目名称					○	○			◎	
	科目名称				○			◎	○		
	科目名称					○	◎			○	

※学問分野コード、レベルコード、ナンバリングコードは、「ナンバリング」の項目を参照してください。

<シラバス イメージ図>

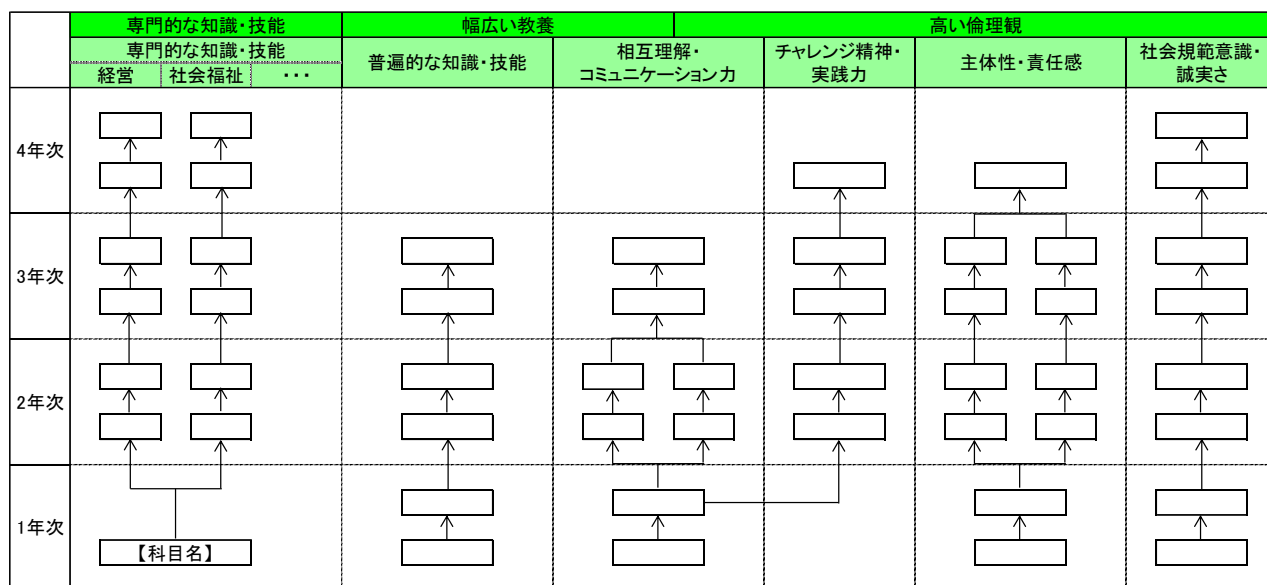
科目名	〇〇概論
担当教員名	
・・・	
この科目を通じて身につける能力要素	
全学共通の能力要素	<2019年度～2024年度入学者>専門的な知識・技能【◎】、社会規範意識・誠実さ【○】
学部固有の能力要素	
能力要素と授業内容の関係	・・・・・・・・
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html
科目概要	
科目の到達目標	

※カリキュラムマトリクスおよびシラバスについては、本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、「科目間の順次性・関連性」を一目で把握できるように、各学部・学科のカリキュラムを体系的に図示したものです。カリキュラムマップにより、学修したい分野についてどのように学修を進めていけば良いかなどが明確になり、体系的・計画的に学修を進めることが可能となります。

＜カリキュラムマップ イメージ図＞



※カリキュラムマップの形式は学部・学科によって異なります。本学Webサイトを参照してください。

カリキュラムマップは、科目間の順次性・関連性を図示していますが、必ずしも順番どおりに履修をしなければいけないという訳ではありません。

一部の科目では、ある科目を修得していなければ履修できないというものもありますが、履修したい科目の履修条件を満たしていれば、矢印（→）の前の科目を修得していなくても履修することは可能です。各科目の履修条件については、[履修にあたり条件がある科目について](#)に記載がありますので、カリキュラムマップと履修ガイド・シラバスを適宜参照し、みなさんの学修したい分野について積極的に学修を進めてください。

学修ポートフォリオ

体系的・計画的に学修を進めるにあたり、適宜、自身の学修行動・学修成果を振り返ることも重要になります。本学では、学生のみなさんが、自身の学修行動・学修成果の履歴を蓄積し、適宜振り返りを行うことができるように、Webを用いた学修ポートフォリオという仕組みを設けています。

学修ポートフォリオとは、自身の学修に関わるデータや課外での取組内容、成果を蓄積し、振り返りを行うためのWebシステムです。

学修ポートフォリオに入力した内容は、指導教員等も確認することができ、適宜、Web上でアドバイスやコメントを受けることができます。学修ポートフォリオを、自身の学修の振り返りや指導教員とのコミュニケーションツールとして活用して、積極的に学修に取り組み、成長に繋げてください。

ナンバリング

ナンバリングとは、科目ごとに適切なナンバーを付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。学問分野やレベル、学修順序等に応じて特定のナンバーを付与しています。

<ナンバリングコードの構成>

AB - DEF | 001

① ② ③ ④

<ナンバリングコードの名称・意味>

- ① 開講部局コード：基盤教育機構、学部を2文字の略称で表示します。
- ② 学問分野コード：学問分野を3文字の略称で表示します。
- ③ レベルコード：授業科目のレベル分けを数字で表示します。
- ④ 整理コード：001～999までの数字で表示します。

各コードの詳細については、本学Webサイトを参照してください。ss

学籍

修業年限と在学年限

修業年限とは、入学してから卒業するまでに必要な最低修学年数で、通算 4 年と定められています。（学則第 36 条）

在学年限とは、本学に在籍することができる期間で、上限を通算 8 年と定めています。（学則第 37 条）

修業年限 通算 4 年（8 学期）	在学年限 通算 8 年（16 学期）以内
-------------------	----------------------

ただし、3 年次編入学生の場合は、4 年を超えて在学することはできません。（学則第 37 条）

休学

疾病その他やむを得ない理由により、2 か月以上修学できない者は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により休学することができます。（学則第 31 条）

休学できる期間の単位は、1 学期または 1 年以内ですが、休学の理由が消滅しない場合は、保証人連署で改めて休学を学長に願い出ることができます。

ただし、休学期間は連続して 2 年、通算して 4 年を超えることはできません。なお、休学期間は上述の在学期間には算入しません。（学則第 32 条第 2・3 項）

復学

休学期間が満了し、休学の理由が消滅した場合は、保証人連署で、願い出て、学長の許可により復学することができます。

ただし、復学は休学した学年とし、時期は学期のはじめとします。

退学

疾病その他やむを得ない理由により退学を希望する者は、保証人連署で、その理由を付して願い出て、学長の許可により退学することができます。その際、理由が疾病である場合は医師の診断書を添えなければなりません。

なお、退学希望日の属する学期に納入すべき学生納付金が完納されていない場合、退学は許可されません。

除籍

次のいずれかに該当する者は、除籍となります。

- (1) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 学則第37条に定める在学年限を超えた者。但し、学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた者は除く。

- (3) 学則第32条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- (5) 当該年度の入学許可者のうち、入学意思のない者

懲戒

本学の規則に違反または学生の本分に反する行為をした者は、学長が懲戒（退学、停学、訓告）します。

転部・転学科

転部とは、現在所属する学部から他の学部に移籍することを言い、転学科とは、現在所属する学部の学科から同じ学部の他の学科に移籍することを言います。

転部・転学科を希望する者は、前年度の 11 月～12 月の所定の期日までに学長に願い出なければなりません。詳しくは教務課までご相談ください。

再入学

本学を退学または除籍になった者で、本学への再入学を希望する者は、所定の手続きを経て、各学部・学科が定める試験を受験し、合格すれば再入学することができます。

再入学を希望する者は、再入学を希望する年度の前年度 11 月～12 月の所定の期日までに学長に出願書類を提出しなければなりません。出願前には必ず教務課にて出願の資格があるか確認してください。

おすすめ検索キーワード集

パソコンにて本データを参照している場合、PDF の「テキストまたはツールを検索」【Ctrl + F】でキーワード検索が可能です。

分からない・気になるキーワードがあれば、検索してみてください。

以下、参考となるキーワードをご参照ください。

区分	おすすめキーワード
履修	い 一次履修登録期間（抽選）
	こ コース ※商経・政策情報学部のみ
	さ 再履修
	さ 三次履修登録期間（修正）
	し シラバス
	じ 事前履修
	じ 自由科目
	じゅ 授業科目配当表
	じゅ 授業時間割表
	しよ 初級簿記 ※商経・人間社会学部のみ
	せ 選択必修科目
	せ 選択科目
	そ 卒業要件
	た 単位認定
	た 体育
	ちゅ 抽選科目
	に 二次履修登録期間（先着）
	ひ 必修科目
	り 履修できる科目
	り 履修できない科目
	り 履修にあたり条件がある科目
	り 履修上限単位数
授業	え 遠隔授業
	お オンデマンド
	か 化学実験室
	か 課題
	が 学生時間割表
	が 学事カレンダー
	きゅ 休講
	きよ 教室

区分	おすすめキーワード
授業	きよ 教科書
	きよ 教員への連絡・質問
	く クラスプロフィール
	け 欠席
	しゅ 出席
	じゅ 授業時間
	ほ 補講
	り リアルタイム
成績	け 健康診断証明書
	ざ 在学証明書
	じ GPA
	しよ 証明書
	せ 成績公開
	せ 成績問い合わせ
	せ 成績証明書
	そ 卒業見込証明書
卒業	ひよ 評価
	が 学位記授与式
	そ 卒業者発表

よくある問い合わせ まとめ

①履修登録日程・流れを知る

Q	一次履修登録期間（抽選）で、抽選科目申込をし忘れてしまったが、どうしたらよいか。救済措置はあるか。
A	二次履修登録期間（先着）および三次履修登録期間（修正）で定員に空きがある抽選科目の追加登録が可能です。

Q	履修登録期間外だが、履修を変更（追加・取消）することは可能か。
A	履修登録期間外は、一切履修を変更できません。 履修取消できなかった科目の受講継続有無はご自身で判断してください。なお、受講を継続しない場合も成績評価はされますので、GPA の算出にも影響があることをご理解の上判断してください。

Q	三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、授業第 1 回目時点ではまだ履修登録が完了していないが、第 1 回目から出席してもよいか。
A	履修登録が完了していない科目は、出席できません。 ほぼ全ての科目で履修定員を設定しており、定員に応じた席数の教室を設定しています。履修登録していない学生が教室に行くことで、履修登録している学生の席がなくなる可能性がありますので、出席はしないでください。

Q	三次履修登録期間（修正）で登録予定の科目について、出席しなかった授業第 1 回目の授業資料が欲しい。
A	履修登録完了後、担当教員に問い合わせてください。教員によっては、すでにクラスプロフィール授業資料などから資料を公開している可能性もあります。

Q	履修取消した科目は、取消以降は出席しなくてよいのか。GPA に影響はあるか。
A	履修取消する科目の授業に出席する必要はありません。また、GPA の算出にも影響しません。

③履修できる科目と事前履修科目を知る

Q	他学部の科目を履修したいが、履修可能か。
A	原則、他学部の科目は履修できません。履修できる科目は、 授業科目配当表 に記載のある科目となります。 授業科目配当表に記載のない科目は履修できませんので、ご注意ください。
Q	必修科目の単位を落とした場合、次学期以降再履修はできるか。再履修の科目内容は同じか。
A	再履修は可能です。再履修時の科目概要は同じです。詳細な授業計画などはシラバスを参照してください。 再履修クラスを履修可能な年度・学期は、科目ごとの開講年度・学期により異なります。科目によっては、再履修する科目が事前履修登録されることもあります。詳細は 再履修科目 を参照してください。
Q	単位認定申請をしたが、申請結果はいつ、どのように分かるか。
A	申請期間終了後、以下を目安に CUC PORTAL の掲示配信にてお知らせします。 (第1期：9/17(水)～9/26(金)頃 第2期：10/3(金)～10/6(月)頃)
Q	申請期間中に必要な合格証書データを用意できない、どうすれば良いか。
A	Microsoft Forms 上での申請を行わず、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。 メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、合格証書を用意できない理由を明記してください。
Q	1度申請をしたが、申請内容に不備があったため、再申請したい。
A	Microsoft Forms による申請は1人1回のみとなります。 申請内容を間違えた場合、申請期間中に教務課までメールでご連絡ください。 メールを送る際は、名前、学籍番号、認定を望む科目、保有資格、再申請をしたい理由を明記してください。
Q	指定 URL をクリックしても Microsoft Forms にログインできない。
A	Microsoft Forms での申請が可能となるのは申請期間中のみです。 まずは、申請期間中であるかどうか確認をしてください。 申請期間中にも関わらず、ログインできない場合、大学メールアカウント以外でログインを試みている可能性があります。必ず大学メールアドレスのアカウントでログインするようにしてください。 (〇〇〇〇〇〇@st.cuc.ac.jp のメールアドレス)

④自分の授業時間割を組む

Q	履修登録したい科目の曜日時限に事前履修科目（必修科目）が入ってしまったが、事前履修科目の曜日時限を変更できるか。
A	事前履修科目の曜日時限は変更できません。曜日時限が重なってしまった科目は、同一科目で別の曜日時限に開講されている授業を履修登録するか、次学期以降の履修を検討してください。

Q	時間割に記載されていない科目は、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	履修学期の授業時間割表に載っていない科目は、開講されません。次学期以降に開講される可能性がありますので、開講されている年度・学期での履修を検討してください。

Q	必修科目の再履修の登録は、各自で行うのか。再履修の履修登録方法が分からない。
A	学部学科や科目によって、再履修の登録方法は異なります。詳細は 再履修科目 を確認してください。

Q	自分で選ぶ選択必修科目や選択科目などは選択肢が多すぎて、どの科目を履修したらよいか分からない。
A	学年によって履修登録できる科目は異なりますが、選択必修科目を優先して時間割を組んでみてください。組んだ結果、空いた時間割や残りの単位数に応じてシラバスを基に興味のある選択科目を履修登録することを推奨します。

Q	科目名の末尾に I・II、(I)・(2)等がついている科目について、I、(I)の単位を修得してなくても II、(2)を履修登録できるのか。
A	学部で条件が定められていなければ履修登録することができますが、II、(2)を履修する場合、I、(I)の単位を修得しておいた方が授業の理解を深めやすくなります。 学部で条件が定められている科目については 履修にあたり条件がある科目について を参照してください。

Q	シラバスを検索しても科目の情報が出てこないときは、開講されないということか。開講されていない場合どうしたらよいか。
A	まずは「授業管理部署」や「開講年度学期」などの検索条件に誤りがないか確認してください。 正しい検索条件で検索しても情報が出ない場合は、その学期には開講しないということになります。開講がない場合、次年度以降に開講される可能性がありますので、開講する学期に履修することを検討してください。

Q	シラバスに記載されている「事前に履修することが望ましい科目」とは何か。指定された科目の単位を修得していないと履修できないということか。
A	「事前に履修することが望ましい科目」とは、特定の科目を履修する場合、あらかじめ単位を修得しておくことが望ましい科目を指します。つまり、単位修得していなくても履修はできますが、単位修得していた方がより科目内容を理解できるということです。

Q	学年が1年となっている科目は1年次しか履修できないか。
A	学年は、履修可能な最低年次を示しています。詳細は 授業科目配当表 を参照してください。

⑤履修登録を行う

Q	抽選申込後、履修上限超過のエラーが出ているがどうしたらよいか、申し込みはすべて無効になるのか。
A	上限を超えて申し込んだ場合、全ての申込が無効になる場合があります。その結果、卒業可否に影響する場合があります。 履修上限単位数を超えて申し込んではいけません。合計単位数には、事前履修登録科目の単位数も含めますので注意してください。 間違えて申し込んでしまった場合は、抽選科目の申込期間内に履修上限単位数以下となるように修正を行ってください。

Q	抽選申込みした科目が時間割表に反映されていないが、落選したということか。
A	落選したこととなります。落選した科目は時間割表に反映されません（落選通知は行っていない）。落選した科目は、二次履修登録期間（先着）で定員に空きが出た場合は先着順で履修することができます。空きが出ない場合は、別科目を二次履修登録期間（先着）で登録することを検討してください。

Q	抽選結果発表日の前に、既に抽選科目の結果が出ている友人がいたが、自分の時間割には反映されていない。自分はすべて落選したということか。
A	抽選結果は「履修登録日程表」でご案内している抽選結果発表日時に公開します。公開前に、システム処理過程の内容が表示されることがありますが、正式な抽選結果は抽選結果発表日時に公開される内容になります。

⑥学事カレンダー（1年間の授業スケジュール）を知る

Q	ゴールデンウィーク、夏休み、春休みはいつか。
A	休暇期間の開始日および終了日は各自の時間割により異なります。学事カレンダーに数字が記載されていない日は授業がありません。自身の学生時間割表と学事カレンダーを照らし合わせてご確認ください。

⑦授業の準備をする

Q	科目によっては、教科書を購入しなくてもよい科目があるのか。
A	シラバスで教科書名が記載されていない科目または「教科書使用なし」などと記載されている科目は、教科書の購入が不要です。ただし、必ず授業にて担当教員の説明を聞き、教科書購入の必要性を確認してください。

⑧授業を受講する

Q	補講は、いつ実施されるのか。授業第 13 回終了後に実施されることはあるか。
A	補講の実施日時は、CUC PORTAL「掲示板」でお知らせしますので、必ず確認してください。 補講日は、学事カレンダーで「補講日」「補講期間」と記載されています。詳細は学事カレンダーを参照してください。 原則として、補講が行われる曜日・時限は、次のとおりです。 ・月 1 回補講日として設定された土曜日 ・当該学期の 14 週目の、授業と同一曜日・同一時限 補講は、「リアルタイム型」または「オンデマンド型」の遠隔形式で実施される場合があります。実施形式は「掲示板」で確認してください。

Q	どのような状況になったら、「授業 Q&A」で担当教員へ直接連絡する必要があるか。							
A	基本的には、授業に関する連絡はすべて各教員に連絡・確認してください。 以下が、担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例です。参考にしてください。 <table><tr><th>担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例</th></tr><tr><td>・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。</td></tr><tr><td>・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。</td></tr><tr><td>・ 課題の提出方法が分かりません。</td></tr><tr><td>・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。</td></tr><tr><td>・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。</td></tr><tr><td>・ 授業内容について質問したいことがあります。</td></tr></table>	担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例	・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。	・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。	・ 課題の提出方法が分かりません。	・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。	・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。	・ 授業内容について質問したいことがあります。
担当教員に「授業 Q&A」で連絡する内容例								
・ 授業を欠席します（欠席しました）。欠席の扱い・対応を教えてください。								
・ 授業に遅刻しそうです。遅刻の扱い・対応を教えてください。								
・ 課題の提出方法が分かりません。								
・ （何かしらのトラブルにより）課題が提出できませんでした。どうしたらよいですか。								
・ 課題の提出するデータ、提出先を間違えてしまいました。どうしたらよいですか。								
・ 授業内容について質問したいことがあります。								

⑨成績公開日程・確認方法を知る

Q	成績優秀者の発表はいつか。成績優秀者となる基準はなにか。
A	成績優秀者表彰制度については、本学 Web サイトを確認してください。 ▶本学 Web サイト>学生生活>学費・支援制度>授業料減免制度 https://www.cuc.ac.jp/campus/expenses/genmen/index.html 

※商経学部のみ対象

Q

レクチャー科目群「その他」はレクチャー科目群の必要単位の 54 単位に含まれるのか。それとも任意選択科目の 28 単位に含まれるのか。

レクチャー科目群の修得済み単位数のうち、科目分類「その他」には、副専攻コースの修得済み単位数が重複してカウントされています。

下図の例の場合、科目分類：【その他】の修得済み単位数は 30 単位となっていますが、副専攻コースの修得済み単位数（8 単位）が重複してカウントされているため、科目分類：【その他】の実際の修得済み単位数は 22 単位となりますので、注意してください。

<解説> レクチャー科目＝学部共通+学科基礎+主コース+副コース+（その他-副コース）となるので、下図の場合、56 単位＝10 単位+4 単位+12 単位+8 単位+（30 単位-8 単位）となります

A

科目分類	卒業要件単位	修得済み単位	履修中単位	合計単位
レクチャー	54	56	0	56
学部共通	10	10	0	10
学科基礎	4	4	0	4
選択必修	4	4	0	4
選択	0	0	0	0
主コース	12	12	0	12
副コース	8	8	0	8
その他	0	30	0	30
セミナー	14	6	0	6
単位互換	0	0	0	0
教職専門		2	0	2
自由科目		8	0	8

⑩成績について教員に問い合わせる

Q

成績評価に納得できない。教員に直接問い合わせてよいのか。

教員には直接問い合わせないでください。

成績評価に関する問い合わせは、「成績問い合わせ制度」のみで受け付けています。

A

なお、成績問い合わせとは、シラバスに記載されている成績評価方法を踏まえ、授業への取り組みや出席状況、提出した課題の出来、試験の解答等について客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ教員に問い合わせができる制度ですので、留意したうえでお問い合わせください。

⑪証明書を発行する

Q 各証明書の取得にかかる所要日数はどのくらいか。

A コンビニで発行できる証明書は、申請した日に発行することができます。その他の証明書は1週間程度かかる場合があります。

Q 卒業証明書は、いつから、どのように取得可能か。

A 卒業した年度・学期の学位記授与式実施日以降取得可能です。学位記授与式では卒業証明書と成績証明書を1部贈呈します。2部以上必要な場合は、卒業後に証明書発行サービスで申請してください。

Q 単位修得した成績はいつ成績証明書に反映されるか。

A 単位修得した学期の翌学期です。成績公開後、すぐに反映されるわけではありません。
例) 2025年度春学期に単位修得した科目・成績は、2025年10月7日(火)以降に発行する成績証明書に記載されます。

Q 証明書をデータで受け取りたい。

A 提出先に直接PDFファイルを送信する機能がありますが、申請者本人がデータで受け取ることはできません。データが必要な場合は、コンビニで出力した証明書(紙)をPDFファイルに変換してください。

